



の心を文化に!! 飛騨高山で!!

DISTRICT 2630 2016-2017  
HIDATAKAYAMA

# 地区大会記録誌

2016-2017 年度 国際ロータリー第 2630 地区



人類に  
奉仕する  
ロータリー

開催日 2016年10月22日(土)・23日(日)

開催場所 高山市民文化会館大ホール



2016-2017 年度 国際ロータリー第 2630 地区

# 地区大会記録誌

2016 年 10 月 22 日 (土)・23 日 (日)

高山市民文化会館 ひだホテルプラザ  
ホテルアソシア高山リゾート  
高山グリーンホテル

ホストクラブ 高山中央ロータリークラブ

コホストクラブ 高山ロータリークラブ  
高山西ロータリークラブ





の心を文化に!! 飛騨高山で!!



国際ロータリー第2630地区

# 地区大会

Rotary



# 目次

## R I 会長メッセージ / 5

R I 会長代理ご挨拶 / 6

ガバナー挨拶 / 7

祝辞 / 8

挨拶 / 10

## 写真で見る地区大会 / 13

## スピーチ・講演・報告 / 63

表彰・感謝状・記念品贈呈の記録 / 92

物故会員 / 103

来賓・招待者・出席者名簿 / 105

地区大会参加者名簿 / 109

編集後記 / 120



DISTRICT 2630 2016-2017  
HIDATAKAYAMA

## RI 会長メッセージ



2016 - 2017 年度  
国際ロータリー会長

ジョン F. ジャーム

朋友ロータリアンならびに来賓の皆さま

2016-17 年度地区大会へようこそお越しくございました。地区大会は、互いに親睦を深め、意欲を高めるだけでなく、アイデアを広げ、計画を立て、ロータリーの未来に向けた準備をするための貴重な機会です。

今ロータリーは、言わば転換期となる歴史的に重要な局面に立っています。会員増強をはかるだけでなく、文化的にも変革を加えなければなりません。この文化とは、「勧誘」や「維持」といった言葉ではなく、入会への魅力を高めることや会員の参加という考え方を大切にする文化です。クラブをより活発にするために、思いやる心、奉仕の手、新しいアイデア、高潔性がますます必要となっています。地元への愛着が深く、世界をより良い場所にしたいと願う人は誰でもロータリアンとなれる可能性があります。今年度、私たちには成すべき仕事が多くあります。今こそ、これまでの成果を土台として、世界でよいことを行うためのより大きな力となるべく、ロータリーが前進するときです。ポリオとの闘いで引き続き大きな進展を遂げる必要があります。過去数年間でポリオ撲滅活動は重要な節目に到達し、野生型ウイルスの常在国は2カ国を残すのみとなりました。しかし、撲滅が達成されたわけではありません。ですから今後もポリオ撲滅を最優先とし、ポリオのない世界という私たちの約束を果たすまで、全力を注いでいただけますようお願いいたします。

今地区大会が皆さまにとって実り多い大会となりますことをお祈りしております。ロータリーの創設者ポール・ハリスは、かつて次のように語っています。「結集された努力に限界というものはありません」

世界中の地域社会で卓越した奉仕を継続し、「人類に奉仕するロータリー」という遺産に輝かしい1ページを刻めるよう、ともに力を尽くしていこうではありませんか。

心を込めて

A handwritten signature in black ink that reads "John". The signature is written in a cursive, flowing style.

## ご挨拶



2016 - 2017年度  
RI会長代理

櫻井 権司

私は、この度、心より敬愛するジョン F. ジャーム RI 会長、ジュディ・ジャームご夫妻の代理として RI 第2630 地区大会に出席するよう要請されました。

併せて劔田廣喜ガバナーご夫妻の温かいお招きを頂き出席を致しました。

栄誉と伝統に輝く当地区は、歴代ガバナーの適切なご指導により、素晴らしい奉仕活動を展開してこられております。

劔田廣喜ガバナーは「**和**の心を文化に！飛驒高山で！」本年度の地区大会のテーマとして掲げられ、**和**は和であり輪であり寛容の心であり親睦であり、まさしくロータリーの基盤と考えます。

2016年はロータリーが大きく変革し、クラブ運営に大幅な柔軟性を取り入れました。疑心暗鬼を生じているクラブもあるかも知れません。

しかし、ロータリーはこれまで長年の伝統と実績を誇りとしてきましたが、世界の多くの会員は未来に向けてさらに発展して行く事を求めています。RIは十数年前より DLP、CLP、夢計画、戦略計画と徐々に変革して来た結果としてクラブに柔軟性を与えました。しかるに、これからはクラブのあり方が大きく問われる時代になると考えます。劔田廣喜ガバナーの卓越したリーダーシップの基クラブの充実が図られることを期待しております。

皆様には、この地区大会を通じて多くのロータリアンと交流を深め、新たな友人を得て更なる奉仕活動への思いを高められますよう祈念し、ご挨拶といたします。

## ガバナー挨拶



2016 - 2017年度  
国際ロータリー  
第2630地区ガバナー

劔田 廣喜

本日は、早朝より緑豊かな自然に囲まれ、四季折々の美しい景観を堪能できる高山へようこそお越し下さいました。

ここに2016-17年度、国際ロータリー第2630地区の地区大会が櫻井権司RI会長代理、ご夫妻をお迎えし、開催できます事、大変光栄であり大きな喜びであります。

地区大会の目的は申すまでもなく、クラブ同士、会員同士が和気藹々と楽しく親睦交流を図り、合わせて地区内の諸情勢やRI全般の情報や目指している方向について勉強し、最終的にはロータリーの綱領（目的）の推進を図ることです。

そして、地区大会に来てよかった、ロータリアンでよかったと思って頂ければ成功ということになります。そのためには、ロータリアンに感動を与えなければいけません、地区大会実行委員会が2年の歳月をかけ、(わ)の心を文化に)をコンセプトに周到な準備をしまりました。期待をしていただきたいと思ひます。

ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長は、2016-17年度のテーマとして「人類に奉仕するロータリー」を選びました。社会貢献への熱意をもつ職業人が集うロータリー独自の力を生かせば、大きな目標も達成できる、とするジャーム会長。「世界でもっと大きな『よいこと』をする推進力となるために、固い決意でポリオ撲滅を成し遂げ、ロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する時が来たのです」と述べています。

これまでより、より鮮明に奉仕の実践を打ち出されたテーマに対して地区としては、例会出席が基礎となると考え地区目標を One profits most who attends most [最も出席するもの最も報いられる] といたしました。自分のクラブへの出席、他クラブへの出席、地区大会への出席、国際大会への出席をすることによって、ロータリーの奉仕を学んで頂きたいと思ひます。地区大会への積極的な参加により、会員の親睦を深め、より良い奉仕活動、「人類に奉仕するロータリー」を進めていただきたいと思ひます。



## ● ● ● ● 祝辞



高山市長

**國島 芳明**

飛騨山脈に連なる秀峰から紅葉の便りが古い町並へ届き始めるおり、高山市へ三重県、岐阜県の地区内の会員様はもとより、国内外から多くの皆様にお越しいただき、国際ロータリー第2630地区大会が、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、心より歓迎をいたします。

高山市は、本年11月1日に市制施行80周年を迎えます。先人たちが守り、築き上げた豊かな自然や歴史、文化、伝統への誇りと愛着の心を、次の世代へ「つたえる」、交流の輪を「ひろげる」、高山市の良さを再発見し、新たな魅力を「つくりだす」スタートの年と位置付けております。

今、私たちを取り巻く社会情勢は、人口減少、少子高齢化の進展など大きく変化しています。こうした中、高山市では「しごと」をつくり「ひと」を呼び込むため、様々な交流を通じて地方創生を進め、次の世代を担う子どもたちが、高山に生まれ育って良かったと自負でき、夢を持ち続けられるまちづくりを進めております。

ロータリークラブの皆様には、地域社会のリーダーとして、永年にわたり社会奉仕・文化・まちづくりなど幅広い分野で活動が続けられ、地域の発展に多大な貢献をいただいております。

会員の皆様には、未来に向かってその精神と活動を継承され、変動する地域の実情に対応された活動に引き続き邁進されることを期待しております。

結びにあたり、国際ロータリー第2630地区の輝かしい活動による実績と信頼をもとに、これからも益々ご発展をされますことと、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 祝辞



国際ロータリー  
第3600地区 ガバナー

**金 鍾國**

(キム・ジョングク)

親愛なる国際ロータリー第2630地区のロータリアンの皆さん、  
こんにちは。

日本の第2630地区、地区大会が盛大に開催されたことを心から  
お祝い申し上げます。

国際ロータリー第2630地区と私たち第3600地区は、長い間イ  
ンターアクトの学生たちを対象に青少年交換事業を毎年実施し、  
若い世代が両国間の文化を学び、体験しながら親善を育んできて  
います。

特に今年は、日本のインターアクトの学生たちと引率の方たちが  
韓国に来た際、私は彼らと撮った写真を第2630地区の劔田ガバ  
ナーに直接"LINE"を通して送りました。劔田ガバナーも、韓国  
のインターアクトの学生たちが日本を訪問した際に撮った写真を  
すぐに送って、ご挨拶くださいました。

両国間のインターアクトの学生たちの交流だけでなく、両国のガ  
バナーたちの間も直接"LINE"で疎通するようになったことを自  
然のことと思ひ、これを契機に友情の輪が広がることを願って  
います。

この地区大会が、人と人の心をより広く（深く）つないでくれる  
ことを願います。

ありがとうございました。



地区大会実行委員長

島 良明

本日は、2016-17年度 国際ロータリー第2630地区の地区大会の開催にあたりまして、三重県・岐阜県の77クラブより、多数の皆様方に『心のふるさと飛騨高山』へ御参集賜りました事、心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。

私達は、高山中央RCをホストクラブとし、高山RC様・高山西RC様をコ・ホストクラブと致しまして、劔田廣喜ガバナーの信条の中にあります、思いやりの心・助け合いの心から『**わ**の心を文化に!! 飛騨高山で!!』をコンセプトとして開催させていただきます。

『**わ**の心を文化に』とは、平和の和、ロータリーの輪、人類の倫の中にあって、お互いに思いやりの心、助け合いの心を持つ事が、文化(常識・当たり前)となるよう願って名付けました。

この高山市には、世界各国から観光客の皆様方に御来訪頂きますので、そういった外国の方々にも『心のふるさと』感を味わって頂き『**わ**の心を世界の文化(常識・当たり前)に』する事が、私達ロータリアンのミッションだと思っております。

さて、本大会の基調講演は、国際ロータリー第2680地区パストガバナーの、久野 薫様にお願いしてございます。

そして、劔田廣喜ガバナーが大変力を入れております『ロータリーデー』は「母子の健康」をテーマとして、この大会会場で「命の写真展」や「ポリオ撲滅キャンペーン」を行っておりますし『レディースプログラム』は、高山グリーンホテルに於いて、舞踊家 谷口裕和氏と、歌舞伎俳優 片岡千之助氏によります、踊りとトークショーを企画させて頂いております。どうぞ御覧下さい。さらに記念講演は、博多の歴女・白駒妃登美さんに『日本人力の凄さ』と題しまして御講演を頂きます。日本人の凄さを改めて感じて頂ければ幸いです。お楽しみの大昼食会では、飛騨牛のステーキをメイン料理として、飛騨高山の料理とお酒を腹一杯お召し上がりください。きっと御満足頂けるものと確信をしております。

御参加して頂きました皆様方には、思い出に残る地区大会になるよう、会員一同、約2年前より準備して参りましたが、万が一、不備な点などがございましたらロータリーの友情に免じてお許しを頂きたいと思っております。

わずか、2日間ではございますが、国際ロータリー第2630地区のロータリアンの皆様方がより一層の親睦を深めて頂き、皆様方のロータリー活動の礎となるよう、心より御祈念を申し上げまして、歓迎と御礼の言葉にさせていただきます。



地区大会幹事

中田 学

飛騨山脈、乗鞍岳の麓、山も水も美しい自然豊かな山あいの街。江戸時代、幕府天領であり、当時の古い町並みが残り、春と秋には往時の風情を醸し出す高山祭があり、近郊には世界遺産・白川郷、いにしへの日本の伝統文化が今も色濃く残る街、飛騨高山。

この度は2016-17年度国際ロータリー第2630地区の地区大会にご参加いただき心より感謝を申し上げます。また、ご多用の中、とりわけ遠方の飛騨高山に各地よりお越しいたいただき重ねて心より感謝申し上げます。

『「**わ**」の心を文化に！！飛騨高山で！！』

和・輪・環・話～「**わ**」という言葉の思い浮かべたとき、私は強く「つながり」ということを感じます。様々な「**わ**」・「つながり」の中で、お互いに思いやりの心・助け合いの心を持つことが文化として日常になり、それが未来へとつながることを心から願い、大会スローガンとして掲げ、参加される皆様にしっかりと形にしてお伝えしたいと、高山中央ロータリークラブ一丸となって、今日まで精一杯取り組んで参りました。

「国際ロータリー第2680地区パストガバナー 久野 薫様による基調講演」、「舞踊家 谷口裕和氏と歌舞伎俳優 片岡千之助氏による日本舞踊と卓話」、「戦後の歴史観から離れ、日本史上の偉人から見る日本人力の凄さと題した白駒妃登美様による記念講演」、「大会日程に先立ち同会場で市民を巻き込み母子の健康をテーマに開催するロータリーデー」、「飛騨牛ステーキをメインに地元のご馳走満載の大昼食会」等々、大会プログラムを通して、皆様とともに、「**わ**」の心について、感じ考え思い合うことができれば幸いです。

当地では秋の高山祭が終わると身も心も徐々に冬支度が始まります。憂い漂う涼やかで凜とした晩秋の飛騨高山で、地元を離れてゆっくりとじっくりとロータリーに想いを馳せる機会としていただけたら幸いです。2日間大いに楽しみましょう！



ホストクラブ会長挨拶  
高山中央RC

田中 雅昭

国際ロータリー第2630地区の地区大会にあたり、ホストクラブを代表し歓迎のご挨拶を申し上げます。

本日は御来賓として高山市長國島芳明様には公私ともご多忙の中、ご臨席賜りまして誠にありがとうございます。又RI会長代理櫻井権司様、令夫人様、国際ロータリー第2680地区パストガバナー久野薫様、令夫人様、講師の白駒妃登美様、又特別出席者の韓国第3600地区ガバナー金鍾國様、令夫人様他皆様方、特別出席者の皆様方、友好クラブの平塚湘南ロータリークラブ様、そして77クラブのロータリアンの皆様、奥様、関係団体の皆様、飛騨高山の地へようこそお越し頂きました。心より歓迎申し上げます。大会を開催するにあたり、ご尽力いただきました、コ・ホストクラブの高山ロータリークラブ、高山西ロータリークラブの皆様をはじめ関係各位に対し心より感謝し、御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

2016-17年度国際ロータリー会長のジョンF・ジャーム氏のテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。世界で34,000以上のクラブのロータリアンは友と語り、情報を分かち合い、「奉仕」の為に集います。我々の努力の結集に限界はないと。又第2630地区劔田廣喜ガバナーの信条は「最も出席するもの最も報いられる」と言われています。そして会長支持率（出席率）を上げることで、より一層「思いやりの心」「助け合いの心」が芽生え、他者への利他の精神が芽生えるとも言われました。共にロータリーの友情と、情熱を以て本地区大会が有意義な大会になることを望みます。そして第2630地区クラブの永続発展の為、何かしらのお役にたてれば光栄です。

Ⓜの心を持って、どうぞ飛騨高山の文化を満喫してください。飛騨高山の新たな魅力を見つけてください。また「飛騨匠の技・こころ 木と共に、今に引き継ぐ1300年」が本年7月に、日本遺産に認定されました。飛騨国1300年の歴史に思いを馳せ、思い出深き、心に残る大会となることを祈念申し上げ、歓迎のご挨拶とさせていただきます。

「情熱と友情・・・そして永久に」 ありがとうございます。



2016-2017 年度 国際ロータリー第 2630 地区

# 地区大会記録誌

写真で見る地区大会

Photo album



大会特別委員会







ガバナー補佐



女性会員



女性会員



クラブ会長



クラブ会長



女性会員



バスターガバナー



委員会委員長



クラブ会長



クラブ会長



クラブ会長



委員会委員長



女性会員



委員会委員長



クラブ会長



バスターガバナー&前代表幹事



クラブ会長



ガバナー補佐



クラブ会長



クラブ会長



クラブ会長



女性会員



クラブ会長



青少年交換学生&委員会メンバー



クラブ会長



バスターガバナー&ガバナーエレクト&財務委員長&次代表幹事



クラブ会長



女性会員



実行委員長&会計長&ガバナー&代表幹事



祝 国際ロータリー第2630地区 地区大会





大会一日目  
式典



受付



開会セレモニー



櫻井 権司 RI会長代理  
櫻井 えり子令夫人



開会・点鐘



司会  
 堀口 裕之  
 小坂 清美



大韓民国国歌斉唱



日本国歌斉唱



長瀬 栄二郎 ソングリーダー



歓迎のことば  
 島 良明 大会実行委員長



大会一日目



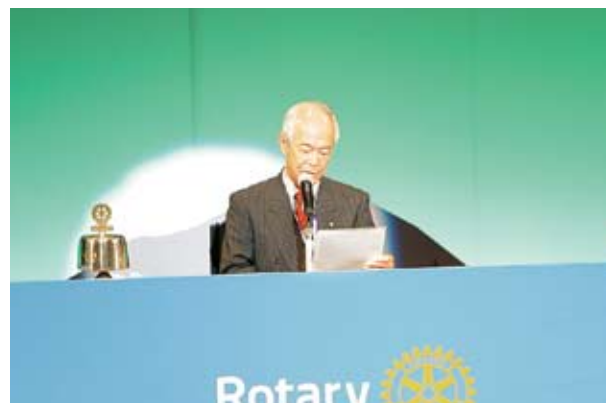
ガバナー挨拶 劔田 廣喜ガバナー



ドローンによる来賓者名簿空輸



地区現況報告  
伊藤 正隆 地区代表幹事



地区会計報告  
南条 吉雄 直前地区会計



# 参加クラブ紹介



桑員グループ 小笠原 まき子 ガバナー補佐



四日市グループ 宮崎 由至 ガバナー補佐



鈴鹿・亀山グループ 青木 啓文 ガバナー補佐



伊勢・伊賀グループ 中村 晶宣 ガバナー補佐



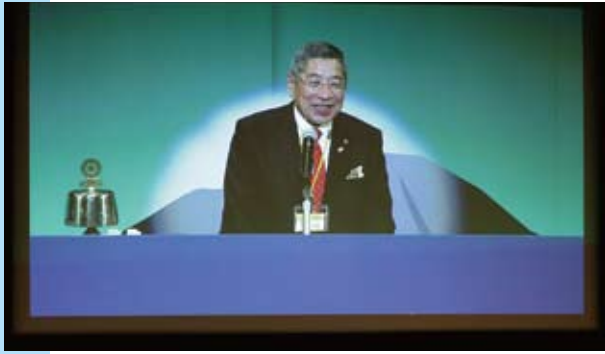
松阪・東紀州グループ 宇野 恭生 ガバナー補佐



伊勢・羽島・志摩グループ 三宅 将義 ガバナー補佐



# 参加クラブ紹介



岐阜Aグループ 田邊 雅範 ガバナー補佐



岐阜Bグループ 木村 静之 ガバナー補佐



岐阜西濃グループ 西脇 保彦 ガバナー補佐



岐阜東濃グループ 齋木 寛治 ガバナー補佐



濃飛グループ 長瀬 隆 ガバナー補佐



東海北陸道グループ 横山 隆一郎 ガバナー補佐



## RI 会長代理アドレス



RI 会長代理

櫻井 権司



## RI 第3600地区ガバナー挨拶



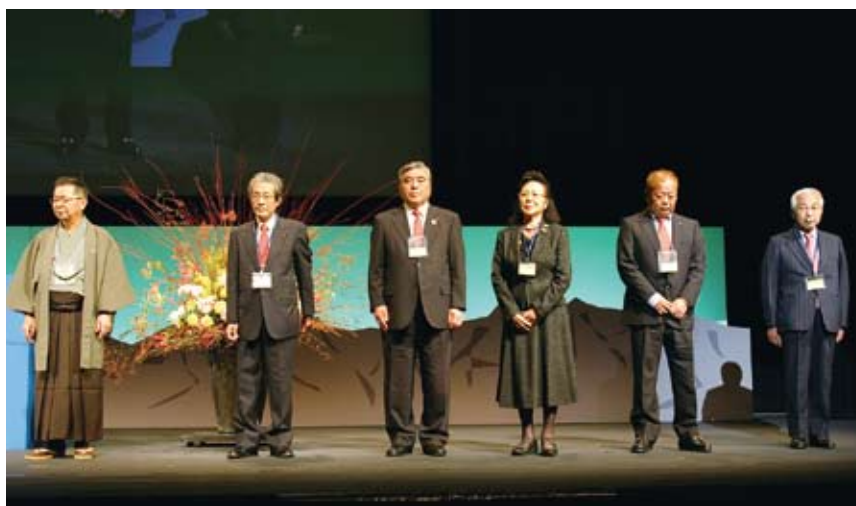
RI 第3600地区ガバナー

金 鍾國





RI 表彰



# 受賞クラブ代表スピーチ



田中 雅昭 高山中央RC会長 RI会長賞受賞



# 岡田信春直前ガバナーへ感謝状



岡田 信春  
 直前ガバナー

# 地区表彰



地区表彰



ロータリー財団表彰



米山記念奨学会表彰

# 劔田ガバナー表彰



## 受賞者スピーチ

松阪RC 上田 重雄



郡上八幡RC 大畑 於左武

## サプライズ



大畑 於左武 会員  
10月31日 97歳の誕生日  
おめでとうございます

第2代よねやま親善大使スピーチ



干 咏

交換学生スピーチ



国際青少年受入交換学生  
ジュリエット・バンドカステール



国際青少年派遣交換学生 布目 喜裕

ローターアクトクラブ  
代表スピーチ



高柳 亮佑

インターアクトクラブ  
代表スピーチ



奥田 伶奈



ロータリー財団学友会  
代表スピーチ

市原 慶子

# 基調講演



国際ロータリー第 2680 地区  
パストガバナー

久野 薫



閉会・点鐘



# R I 会長代理ご夫婦歓迎晩餐会



高山屋台組「龍神臺」からくり



歓迎演奏



開宴のことば 伊藤 正隆 地区代表幹事



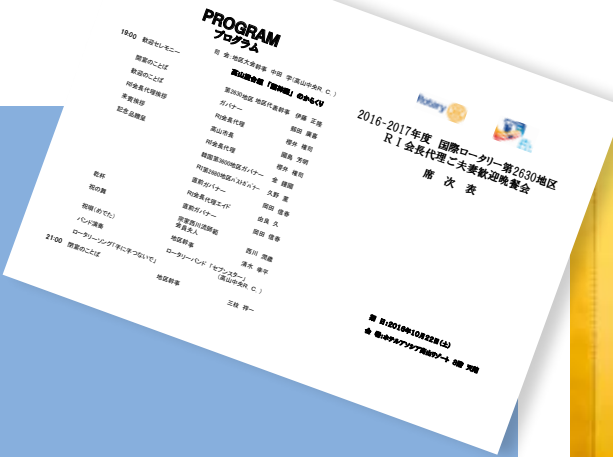
歓迎のことば 剣田 廣喜 ガバナー



来賓挨拶 國島 芳明 高山市長

R I 会長代理挨拶 櫻井 権司 R I 会長代理

記念品贈呈



櫻井 権司 R1会長代理



金 鍾國 第3600地区ガバナー (韓国)



金 鍾國ガバナーより剣田 廣喜ガバナーへ (銅鑼を受け取る)



金ガバナー令夫人より剣田ガバナー夫人へ



岡田 信春 直前ガバナー



由良 久 パストガバナー (エイド)



久野 薫パストガバナー令夫人



ご歓談風景



乾杯 岡田 信春 直前ガバナー



祝の舞 西川 潤歳  
(堀口裕之会員夫人)



司会 中田 学  
地区大会幹事



祝唄 (めでた) 清水 幸平 地区幹事



2016年10月22日(土)

# 大会一日目



ロータリーバンド演奏

高山中央RC  
「セブンスター」



女性会員によるコーラス



# ロータリーソング

手に手つないで



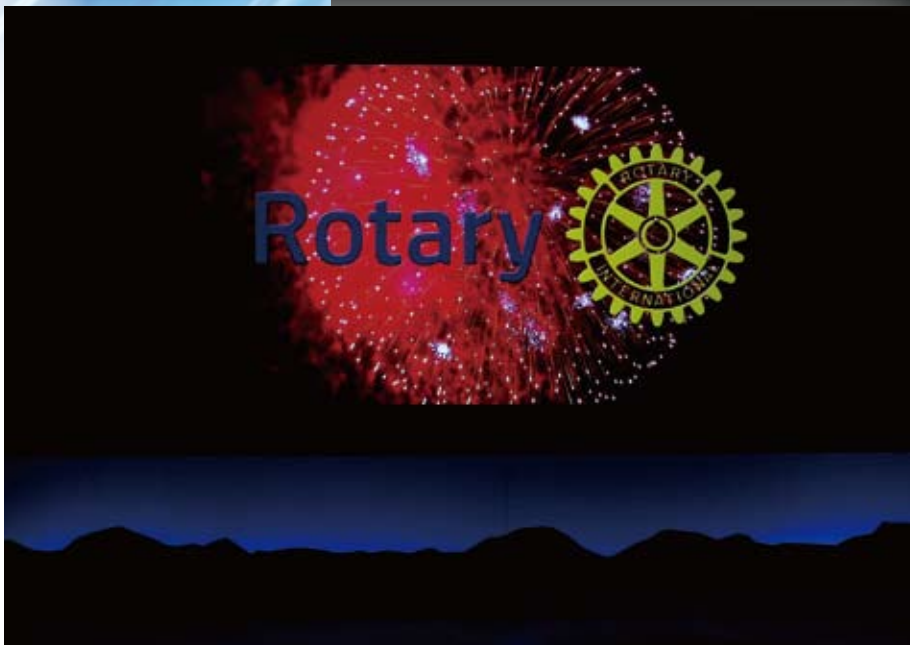
閉会の言葉 三枝祥一 地区幹事



大会二日目



# 開会セレモニー



大会二日目



ガバナー登場



R | 会長代理





司会 堀口 裕之・小坂 清美



大韓民国国歌斉唱

ガバナー点鐘



日本国歌斉唱



ソングリーダ 長瀬 栄二郎





大会二日目



ホストクラブ会長挨拶  
田中 雅昭 高山中央RC会長



来賓・特別招待者・特別出席者紹介  
剣田 廣喜 ガバナー



来賓祝辞 國島 芳明 高山市長



金総長 ご夫妻



参加クラブ紹介  
伊藤 正隆 地区代表幹事

## 参加クラブ紹介



## 大会特別委員会報告及び大会決議



村橋 元  
登録委員会委員長



加賀 修  
選挙管理委員会委員長



岡田 信春  
信任状委員会委員長



石垣 智康  
決議委員会委員長



## 記念講演 講師紹介

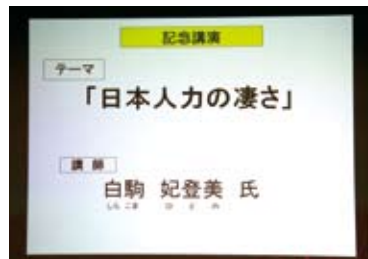
島 良明 大会実行委員長



# 記念講演

博多の歴女

## 白駒 妃登美



## 感謝状贈呈



# 次期への誓い

田山 雅敏 ガバナーエレクト



ガバナーエレクト紹介



ガバナーノミニー紹介



木村 静之 ガバナーノミニー



剣田 廣喜 ガバナー 鍵を持つ

## 大会の鍵の伝達



ガバナーから高山中央R C会長へ



高山中央R C会長から上野東R C会長へ



上野東R C会長からガバナーエレクトへ



田山 雅敏 ガバナーエレクト 鍵を掲げる



次期開催地クラブ会長挨拶  
中尾 彰克 上野東RC会長

## 次期大会キャラバン



# RI 会長代理講評



## ガバナー謝辞

閉会・点鐘





大会二日目 大昼食会



開会のことば  
西倉 良介 大会副実行委員長



来賓挨拶 櫻井 権司 RI会長代理



乾杯 岡田 信春 直前ガバナー



お座付 古橋 ひと実 他



祝唄 めでた 島 良明 大会実行委員長



閉会のことば  
高殿 尚 大会副実行委員長



司会 高橋厚生・小坂清美

## 会食風景



大会二日目 大昼食会



各クラブ活動報告



# クラブ紹介



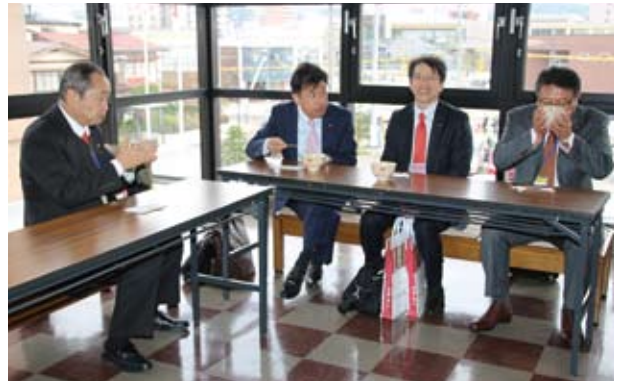
## 各クラブバナー



# 友愛の広場



# 呈茶席



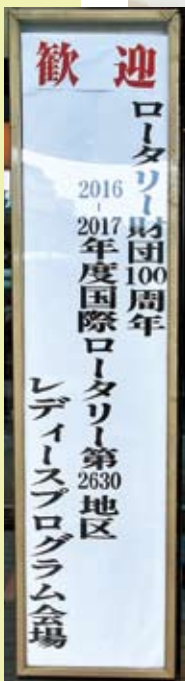
舞踏家 谷口裕和氏 歌舞伎俳優 片岡千之助氏

# 踊りとトークショー

谷口 裕和氏



片岡 千之助氏





レディースプログラム



司会  
小林 一枝



挨拶 三枝祥一 地区幹事



ロータリーデー



松永知恵美写真展風景



松永 知恵美氏



家族の絵コンクール表彰式



松永知恵美講演



来場の子供たちが自由に描いた絵にプロアーティスト井上えつ子さんが手を加えアートが完成

# 地区大会の裏方



# 地区大会の裏方





# 地区大会の裏方



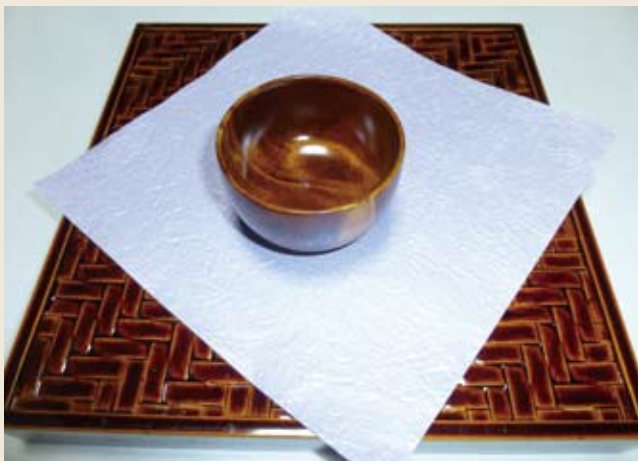
## 大会記念品

# 彩景 嗜器

「my. <sup>おちよこ</sup>御猪口」の<sup>さいけいしき</sup>彩景嗜器は、世界遺産白川郷や飛騨高山産、岐阜県内産、国内産にて伐採された古木から取れる大変貴重なちぢみ模様等が入った銘木にて制作しました。生地加工は、高山市在住の伝統工芸師 横田修平氏 並びに 摺り漆は、中谷信康氏に依頼し作成しました。本品は、平成27年4月1日に高山市推奨土産品に登録された工芸品で、平成26年度新作土産品の部において優秀賞を受賞しました。

飛騨の職人の心のこもった一品は、生涯の「my. 御猪口」としてご使用して頂ける事を願います。但し、本漆を使用していますので、熱燗ですと漆の匂いを感じられる方が見受けられますが、無害ですので安心してお使い下さい。冷酒にてお楽しみ頂いても最高です。

近年減りつつある地元工芸師が、飛騨の匠の技を継承するためにも若手工芸師育成にお手伝い出来る事はないかと考案した一品です。



梶 工房



2016-2017 年度 国際ロータリー第 2630 地区

# 地区大会記録誌

スピーチ・講演・報告

U  
T  
E  
E  
S  
P  
R  
E  
E  
S



## 地区大会ガバナー挨拶



ガバナー 劔田 廣喜

本日は、早朝より。緑豊かな自然に囲まれ、四季折々の美しい景観を堪能できます高山へようこそお越し下さいました。

ここに2016-17年度、国際ロータリー第2630地区の地区大会が櫻井権司RI会長代理、ご夫妻をお迎えし、開催できます事、大変光栄であり大きな喜びであります。また今年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき大会であり、誠に意義深く、皆様にとりまして有意義で、感動的な大会になることを願っております。

今年の6月末に岡田前ガバナーと固い握手してバトンタッチをいたしました。その写真はガバナー月信7月号に載せさせていただきました。その写真を見て家の孫がこの人ダーレと聞くものですから、この人は前ガバナーの岡田さんと言いますと、**ふーん、前、カバの岡田さんと言いましたので慌てて訂正をいたしました。**私は誰にも言いませんが、家の孫は大変賢いと思っております。

このような間違いはガバナー公式訪問でもあります。シニアリーダーの方々が前に集まっていらっしゃいました。何故か、小さな声で話しているつもりでもよく聞こえます。一人の方がこのガバナー中々いいねーと言われました。もう一人がガバナー！センスがいいよと言われました。当然、気分をよくした私は、シニアリーダーの方を見ますと、何か持っています。よく見ると解りました。**それは、ガバナーではなくバナーでした。**本当に何年ロータリーに在籍しているのかと思いました。

ロータリーには素晴らしい出会いがあり、心に残るロータリー体験をする事によりロータリアンになっていくと、田中作治元RI会長は言われています。

私のロータリーモーメントは、

2004 - 2005年、竹腰ガバナー年度であります。竹腰PGと私の父は友人関係にあり、竹腰PGの親心から当時拡大増強委員3年目の私に竹腰PGのホームクラブである岐阜南ロータリークラブ様で卓話をする機会を与えていただきました。ガバナーのホームクラブであり、歴史も伝統も、規模も違うクラブでの卓話を考えた時、大変緊張をいたしました。そこで、会員増強の卓話は私よりもっと詳しい人がいると思

い避けて、私の父親の話をする事にしました。私の父親はクラブ会長、幹事、分区代理、特別代表を歴任しており、私どもの高山中央ロータリークラブの生みの親でもあります。直接ロータリーを指導してもらったことはありませんが、ロータリーに対する父の真摯な姿勢が私にいろんなことを教えてくれました。特に影響を受けたのは、父親の晩年、同僚のロータリアンのホテルオープンに祝辞を述べに行くときの事でした。その日は体調がすぐれず、迷った挙句友人の為ということで出かけましたが、心配した通り、祝辞を述べた後に倒れ病院へ救急搬送されました。後から先生に聞いた話ですが、後、15分遅れると危なかったと言われました。意識も回復して普通病棟に移ってからの、父の第一声に驚かされました。クラブの事務局にすぐ電話して休会届を出してくれ、そうしないと、皆に迷惑を掛けるからと言いました。15分遅れると命が危なかった父が第一に考えたのがロータリーであり、ロータリーの仲間の事あります。今から考えると、これが超我奉仕であり、私のロータリーモーメントであります。

この話を卓話で話すことに決めましたが、内容が硬すぎるため、それを和らげる為に落語という枕はないか考えました。しかし、なかなか、思い浮かびません段々日にちも迫りあせりもでてきました。ある日、車の運転中にも考えていたため**赤信号のなかを交差点に突っ込み衝突事故を起こしてしまいました。**幸い、人身までいならず不幸中の幸いでしたが、相手の驚嘆した表情は今でも目に焼きついています。また、その時私は、不謹慎にも事故を起こしたことは反省しましたが、枕を探すと言う意味ではやったと思えました。交通事故を起こして喜ぶのは、私か保険金詐欺ぐらいだと思います。相手の方には100%誠意を示し、**すぐに飛驒牛をお送りしました。**私は困ったことがあるとすぐ飛驒牛を送るのが私の常とう手段です。すぐに相手の方から電話がありました。結構な物を頂戴しありがとうございます。子供たちも大喜びで家族みんなでおいしく食べました。ブツケテくれてありがとうございます。

とは言われませんでした。が、**飛驒牛効果がありました。**

やっと、枕もでき岐阜南ロータリークラブ様へ卓話に行きました。冒頭の挨拶で、貴クラブの卓話で何を話そうか、いろいろと考えすぎて、交通事故を起こしてしまい、大変な犠牲を払って、ここへ参りました。事故という犠牲に免じて、最後まで私の話を聞いてください。と言いました。まさに、これが本

当の自己（事故）紹介になったのです。  
私が申し上げたいことは、何事にも一生懸命  
事に当たるといことです。相手の身になって考える  
から、一生懸命になるのです。ロータリーで最も  
大切なことは、実践として超我の奉仕に身を持つ

てあたることです。  
皆さんが地区大会に来てよかった、ロータリアン  
でよかったと感動をもっていただくことを祈念申  
上げご挨拶とさせていただきます。

## 地区現況報告



地区代表幹事  
伊藤 正隆

それでは国際ロータリー第2630地区の現況報告  
をさせていただきます。

8月末現在、三重県12グループ33クラブ会員数  
1365名（うち女性会員87名）、岐阜県12グルー  
プ44クラブ会員数1,758名（うち女性会員54名）  
でございます。総計では77クラブ会員数3,123名  
（うち女性会員141名）となっております。今期に  
入りまして7・8月の二カ月間において45名の増  
員を達成いたしております。クラブセントラルを  
見ますと、日本全国では2265クラブ会員数89,454  
名、全世界では35,533クラブ1,228,956名ござい  
ます。

地区に話を戻しまして委員会におきましては、  
各委員長のもと活発に活動を行って頂いておりま

す。その中で財団部門におかれましてはロータリー  
財団セミナーの第1回目を7月24日に開催、第2  
回目を10月29日に開催予定しております。会員  
増強委員会は来年1月から6月までの間に各ガバ  
ナー補佐の主権により各グループごとの会員増強  
セミナーを開催予定でございます。公式訪問につ  
きましてはガバナー公式訪問を7月16日から10  
月7日まで計21ヶ所で行われました。すべてのク  
ラブにおいてガバナー公式訪問が無事終了致しま  
したことをご報告申し上げます。次にインターシ  
ティミーティングでございますが、7月16日岐阜  
Aグループを皮切りに今日まで9ヶ所でIMを開  
催してまいりました。11月に3ヶ所開催を予定い  
たしております。ガバナー補佐の皆様におかれま  
してはご苦勞おかけしておりますが、今後ともよ  
ろしくお願い申し上げます。

最後にロータリー平和センターへの寄付におきま  
して、感謝状と命名のバナーを頂きましたので披  
露させていただきます。

以上、地区の現状報告を終わります。

## 2015-2016年度地区会計報告



直前地区会計長  
南条 吉雄

直前地区会計長の南条吉雄と申します。昨年、  
岡田年度におきまして地区役員の皆様方並びにA  
Gの皆様方、会員の皆様方に甚大な会計業務に関  
するご理解と多大なご協力によりまして無事決算

を終えることができました。この場を借りて厚く  
御礼申し上げます。ありがとうございました。

それでは時間の制約もございますので、簡単に  
地区会計について報告させていただきます。

地区資金の収支等について説明（中略）、8月4日  
地区の財務諸表・財産目録を財務委員会に提出し、  
直前の大野財務委員長・本年度の前越会計長・次  
年度の山口会計長に監査を受け、すべて財政状態  
は正しいことを認めていただきました。

以上、直前地区会計報告をおわります。ありが  
とうございました。

# RI 会長代理 アドレス



RI 会長代理 櫻井 権司

## 国際ロータリー 現況報告

2016-'17年度 国際ロータリー第2630地区大会

RI 会長代理 櫻井 権司

## 人類に奉仕するロータリー

ロータリーで奉仕する毎日には、人々の生活を考える機会が考えられています。皆さんの生活一つひとつに大切な意味があり、一つひとつの善行が、私たちが持つよりよい世界をつくるのです。

私も昔が「人類に奉仕するロータリー」を通じて世界をよりよい方向へ変える新しいチャンスを持っているのです。

2016

ジョンF.ジャーム & ジュディー

## 会長賞

ハードルはそんなに高くありません。挑戦しましょう

人類に奉仕するロータリー

ジョン・ジャーム  
2016 RI 会長代理

## 会長賞

挑戦することは、地区、クラブの目標設定になり活力にも繋がります。

**必須項目**  
クラブ・セントラルで少なくとも10項目の目標設定  
RI 人種分担金を最前までに支払う。(7月 1月)

会員の増強と維持	1/3
財団への寄付	3/6
オンラインツール利用	2/4
人道的奉仕	3/6
新世代	3/8
公共イメージ	1/3

2016

## 2015-'16 RI 収支

会員数 / 会費による収入 (円)

+2%  
+200%  
6500円

RI 人種分担金の使途

- 20,920円 2017年以降の会費
- 9,060円 RI 人種分担金
- 7,830円 2017年以降の会費
- 5,960円 2017年以降の会費
- 4,230円 2017年以降の会費
- 3,760円 2017年以降の会費
- 2,220円 2017年以降の会費

2014-'15年度 人種分担金 54.00%

2016

## 2015-'16 RI 財団収支

財団への寄付 (円)

2015-'16年度 1億2000万円

対人種分担金への寄付 1億2000万円

その他の寄付 1000万円

ロータリー財団収支

1億2000万円

92%

84%

2016

### 戦略計画

2016

### 戦略計画

- クラブのサポートと強化
- 人道的奉仕の重点化と増加
- 公共イメージと認知度の向上

親睦  
高潔性  
多様性  
奉仕  
リーダーシップ

2016

### ポリオ撲滅を歴史の1ページに

ポリオのない世界  
実現にはあなたの力が  
必要です

「世界ポリオ撲滅推進活動」

- ・症例数 パキスタン 13 アフガニスタン 6 合計19件 (8/24現在)  
※ナイジェリアで8月11日2件の症例が確認された。
- ・現在の目標2016年ウイルスの伝播を止める。
- ・2019年世界のポリオ根絶を認定できるようにする。

2016

### END POLIO NOW: 歴史に1ページを刻もう

10月25日(月)日本時間 「世界ポリオデー」  
世界ポリオデーに行動を!

行動する

- ・友人、クラブ仲間、会員候補者を誘って、10月25日朝7時のライブ中継を見る。アトランタにある米国疾病対策センター(CDC)にて、4年目となる「世界ポリオデー」のイベントが開催され、その様子を生中継でインターネット配信します。  
<http://livestream.com/rotaryinternational/worldpolioday>

日本では25日の早朝となるため、ライブで見るのが難しい場合は、後から録画を視聴することもできます。ポリオ撲滅活動の現状や今後の活動についてさまざまなプレゼンテーションが行われます。

2016

### 2016-17年度:ロータリー財団100周年

2016  
財団100周年を祝う最初の祝賀行事  
韓国でのロータリー国際大会  
(5月28日~6月1日)

2017  
幕締めとなる祝賀行事  
アトランタ(米国)でのロータリー国際大会  
6月10日~14日

[www.rotary.org/ja/foundation100](http://www.rotary.org/ja/foundation100)

THE ROTARY FOUNDATION  
100  
YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD

2016

自分だけでなく、人のために  
よいことをする喜びのために  
私たちは生きるべきです

アーチ・クラブ、1929年

2016

### 国際大会アトランタに行こう!

2017年6月10日~14日

財団100周年の祝賀イベント  
会長主催平和会議  
歴史的なフォックスシアター(Fox Theatre)で  
名画『風と共に去りぬ』の特別上映会

2016

### 国際ロータリー 現況報告

ご静聴有り難うございました。

2016

## R I 会長賞受賞 クラブ代表挨拶



高山中央ロータリークラブ  
会長 田中 雅昭

R I 会長賞受賞者を代表して一言、御礼の言葉を述べさせていただきます。

R I 会長賞を受賞出来たことは、クラブは勿論の事、全会員の誇りであり、誠に光栄に存じます。感謝に堪えません。

当クラブは10年連続11回目の受賞をさせていただきました。R I 会長賞受賞に向け、年度計画にR I 会長項目を反映させ、全会員が同じ方向を向き、活動し、価値観を共有することが重要であり、結果としてR I 会長賞を受賞することが出来たのではないかと思います。それはまさしく魅力あるクラブへと発展していくものと確信しております。本年度もまたR I 会長賞受賞を目指して、クラブの全会員と共に活動してまいりたいと存じます。 本日は誠にありがとうございました。

## 劔田ガバナー表彰 受賞者スピーチ



松阪ロータリークラブ  
上田 重雄

皆さんこんにちは、本日は大変名誉な表彰を頂きまして大変有難うございました。厚く御礼申し上げます。

私为本日この表彰を頂きました裏には私自身の健康に対する努力もありますが、クラブ会員の支えがあったことはもとより、ただ単に例会に出席しているだけ

ではなく会員の皆様とお話しをして卓話をお聞きすることが楽しくてしかたなく、結果このことが表彰につながったものと理解しております。

先ほど劔田ガバナーがおっしゃいました。『最も出席するもの、最もむくわれる』とのお言葉はロータリアンの基本でありロータリーの根本であると理解しております。

これからも健康に一層の注意をはらいまして例会に出席することを楽しみとしながら回を重ね一層努力をいたしてまいりたいと考えております。

本日は本当に有難うございました。

## 劔田ガバナー表彰 受賞者スピーチ



郡上八幡ロータリークラブ  
大畑 於左武

『みなさんこんにちは。わたくしは、大変恐縮でした。還暦の日にロータリーにお世話になってそれから37年。出席が義務として私自身の勉強のためにと、いつしか今日まで例会に出席することが出来て、そして今日ガバナーから特別なご褒美を頂きました。その間、私を支えてくれた多くのロータリアンの友情に、また家族の理解に いま改めて感謝を申し上げる次第です。

思い起こせば私自身が、昭和14年4月、三笠宮殿下が軍務についておられた千葉県習志野市の騎兵15連隊に、岐阜県からただ一人選ばれて、大変厳しい特別な教育を殿下の下で受けてその結果、当時の軍人はもとより国民総意で憧れの的となっていた近衛騎兵に選ばれました。そうして、幾多の戦場に特別捜索隊員として馬の機動力で、5年間戦地を走り回り2度目の負傷で徐州の病院に入院中、大東亜戦争となり、急きよ

ガダルカナルへ特別の斥候として「行け」と命令を受けて40人の少数兵力で、帰還兵から急きよ巡洋艦清澄でトラックに行きました。

5年間生死を共にした馬と蘇州の寒山寺で別れてから、戦艦山城でニューギニアのラバウルに行き、毎日の空爆の中、今度は駆逐艦の夕月でガブブ（ニューブリテン島中部）に向かいました。終戦までの8年間に5回の銃弾をこの身に受けましたが、不思議に生き、奇跡的に生かされました。

ガダルカナルは、物資の膨大な遅配から残念な結果になり、コロンバンからベララベラ、ブーゲンビル島と、島伝いに敗退し、あろうことか最後の2年半物資の輸送が一島もなく、人の食べる米味噌醤油、それはおろか缶詰の一つも与えることも見ることもなく、生きて戦うために手当たり次第に草を食い、あろうことかジャングルに無数にいるあの蜘蛛の巣の蜘蛛、バッタ、コオロギ、トンボ、セミまでも口に入るものは全て食って戦いました。

残念なことに銃弾に倒れた戦友は、土はおろか、落ち葉もかけてもらえません。栄養の失調や、食べ物の変化で五体、象の足のように膨れ上がって動くこともで

きません。抵抗力がなくなれば当然起こるマラリアの高熱で倒れても気力もない、拳句の果てに下半身を負傷すれば自分で草や木の実を拾って食べることが出来なくなり、その場所が彼らの終焉の場所となる。いつどこで国のために名誉の戦死と言われても、家族にそのことも知らせてもらえず、あろうことか人の命が塵芥のように掃いて捨てられてしまいます。これが戦場です。

地球上に人類が共存する限り、国が違い、人種が違い、経済・文化・宗教まで違えば当然争いは起こります。争いのはての結末は、時代が変わっても大同小異です。従って、「人類に奉仕、人類は一つ」を提唱を実践する国際ロータリーこそ、今、必要不可欠であることは、今更申し上げるまでもないことと思います。思いを同

じくする友達を一人でも多くロータリーに迎え、ロータリアンの愛の手で提唱する平和が、至極当たり前の平和になるように、孫子のためにも そう念じます。今日 貴重な時間を下さった劔田ガバナー、そして私の愚かな説をお聞きくださった、会場の皆様に心から感謝の思いを重ねます。

本日は誠にありがとうございました。

2016年12月8日 今井 俊治 追加編集

(参考：ウィキペディア 夕月(駆逐艦)

[https://ja.wikipedia.org/](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%95%E6%9C%88_)

[wiki/%E5%A4%95%E6%9C%88\\_](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%95%E6%9C%88_)

[\(%E9%A7%86%E9%80%90%E8%89%A6\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%95%E6%9C%88_(%E9%A7%86%E9%80%90%E8%89%A6))

## 米山親善大使スピーチ



### 第2代よねやま親善大使 于 咏

皆さん、こんにちは。本日、この自然の豊かで人情の温かい高山で、国際ロータリー 2630 地区の地区大会が盛大に開催されまして、誠にありがとうございます。心より、お祝い申し上げます。

今年は、ロータリー財団の誕生 100 周年と同時に、日本ロータリーの独自の事業である米山記念奨学財団法人の設立 50 周年でもあり、ロータリーの歴史において大変記念すべき年であります。皆様ご存じの通り、米山記念奨学事業は、日本ロータリーの父である米山梅吉さんの功績を記念するため、1952 年、東京 RC から発足され、日本ロータリアン達の「国際親善と世界平和に寄与したい」という強い信念に支えられ、世界唯一無二の大事業へと発展してきました。外国人留学生を対象として民間奨学機関の中で、国内最大規模であり、60 年間、支援を受けた奨学生数は累計 19,197 人となり、世界 124 の国と地域に及ぶことになりました。

奨学期間を終えた奨学生は学友会を結成し、日本国内 33 と海外 7 つの学友会（台湾、韓国、中国、タイランド、ネパール、モンゴル、スリランカ）を通じて、親日の輪が世界中に広がっています。更に、約 220 名の米山学友はロータリアンになり、学友を中心としたロータリークラブを 5 つ発足し、学友による米山寄付金額も 2700 万円を超えました。「しずくのような恩恵を受け、湧き泉の如く恩返す」。この

中国の諺のように、若くて貧しい青春時代に貴重な経済的な援助を受けた留学生たちは、成功した後恩返しし、社会還元を努めています。この姿は、正にロータリーの「超我の奉仕」精神の伝承であり、平和と友愛の聖火リレーそのものなのです。

約 2 万人の米山学友、約 2 万通りの成長物語。2630 地区では、今まで約 500 名の学友を受け入れ、今日も 13 名の現役奨学生は大会に参加しています。(奨学生達の登壇)

出会いは人生の宝。18 万人も超える在日留学生の一人であった私たちは、海辺の砂一粒のような存在でした。しかし、この砂は大変ラッキーで、美しい貝殻であるロータリー米山に出会い、素晴らしい皆様に会い、栄養を頂き、磨かれ洗練され、真珠に変身し成長して参ります。

You raise me up, Rotary! 2 万人の留学生の人生を輝かせ、世界 124 カ国に希望と平和の種を蒔きました。世界唯一無二の奉仕事業は皆さんが行っていらっしゃる、皆さんによって実現されています。米山こそ、日本ロータリアン全員の誇りです!

You raise me up, Rotary! 人間の生きる目的を教えてくださいました。それは、「自ら成長すること」と「人々に尽くすこと」です。ロータリーは正にこの二つ目的の集大成であり、人間として成長し続ける舞台なのです。

この舞台に立たせていただき、心よりロータリー米山に感謝申し上げます。(全員一同) ありがとうございます。

最後ですが、2630 地区大会の成功を心よりお祈り申し上げます。

## 国際青少年受入交換学生スピーチ



ジュリエット

・バンドカステール

皆さん、こんにちは

フランスのLYONと言う街から来たバンドカステールジュリエットです。今日、私が日本に来た時から日本での生活について話しをしたいと思います。8月の18日に、やっと私の夢が叶いました。フランスの家族を一年間諦めて、初めて、一人で飛行機に乗って、13時間かかりましたが日本に無事に着きました。

森さんが一番目のホストファミリーになりました。

優しくて、面白くて、暖かくて、森の家族はとってもすてきなホストファミリーでした。子供達もいて、17歳のきょうすけと14歳の玲奈ちゃんとパオちゃん。玲奈ちゃんは可愛いホストシスターと友達になりました。きょうすけと玲奈ちゃんは一回も喧嘩しなかった事が驚きました。優しい森おばあさんと森おじいさんが横にある家に住んでいました。森の家族に本当に感謝しています。たくさん教えてくれてありがとうございました。

今、二番目のホストファミリーは桑名に住んでいる佐藤さんです。子供は28歳の里香と22歳の志保です。七年前に、志保は、ロータリーでオーストラリアに1年間留学していました。その優しい家族と新しい発見をする事が楽しみに待っています。

今から、森の家族と行った場所を紹介したいと思います。9月3日に、伊賀市にある忍者屋敷と言う場所に行きました。忍者の生き方や服や武器などを見て、忍者に興味があるようになりました。同じ一日に、奈良にも行きました。東大寺の素晴らしい大仏を見る事が出来て嬉しかったです。鹿もたくさんいたので、伊久子さんは鹿せんべいを買ったけれど、10匹ぐらいの鹿が伊久子さんの周りに集まって、こわくて、せんべいを投げてしまいました。とても面白かったです。

9月の11日に、学校の友達と一緒に伊勢神宮に行きました。'学校の友達とどこかに遊びに行く事がいつか出来るのかな'と思っていたので、学校

の友達と伊勢に行く事がすごく楽しみにしていました。伊勢神宮は緑が多くて、なんとなく、私はカトリックなのに、神道の神様はそこに存在している事が感じるようになった気がしてとてもお気に入り場所なんです。交通安全のお守りも買いました。

玲奈ちゃんの友達と鳥羽にも行ったり、大阪のあべのハルカスの上に写真を撮ったり、西ロータリークラブと京都で川の上にあるレストランで食べたりしました。

今から、佐藤の家族と行った場所を紹介したいと思います。

10月9日に、佐藤さんと一緒に、車で富士サファリパークに行きました。雨が降っていたのに、ジャングルバスに乗ったり、熊や、ライオンや、虎などを見たり、動物に餌をあげたり、ライオンの赤ちゃんを抱っこしたりしました。忍野八海と白糸の滝にも行きました！そこで、とっても素晴らしい富士山が見えました。その前に、雨が降ったので、富士山の全体が見えました。とってもきれいでした。

9月8日に四日市市長に会いました。とても不安でしたが、どこかの市長に話す事が私に初めてだったのでいい経験でした。

8月29日から、メリノール女子学院に通っています。いっぱい友達出来たので、日本の学校は楽しいと思います。弓道とお琴をやっています。9月24日と25日、学校の文化祭だったので、合唱コンクールでHail Holy Queenと言う歌を歌いました。25日はロータリーの旅行があったので、見えなかったが私のクラスは白雪姫の劇をやりました。

学校に行くために、二つの電車に乗って、バスにも毎日乗っています。

9月30日にきょうすけの幼馴染と学校の制服を交換しました。

8月24日から26日まで、ロータリー2630地区のおかげで、他の留学生と夏休みの旅行に行きました。

聞いてくれてありがとうございました。また今度、日本でした事についての話しをするのを楽しみにしています。これからも、よろしく願います。

## 国際青少年派遣交換学生スピーチ



益田清風高校  
布目 喜裕

去年の夏から今年の夏までアメリカのオハイオ州の、エイボンレイクという町に一年間留学へ行っていた布目喜裕です。このたびはこのような機会をいただき本当にありがとうございます。今回は僕の留学での体験と留学で学んだ大切なことについて話していきたいと思います。

僕はセントレア空港から成田空港とシカゴを経由してオハイオに行く予定でしたが、成田空港についてすぐに、なんとシカゴへ行くはずのフライトがキャンセルになっているのに気が付きました。当時は税関ですら一人で通れるのか不安でいっぱいだったのに、そんなアクシデントが起きて僕は本当に驚きました。ですが、驚いてばかりもいられないと悟った僕は、旅行会社に問い合わせ、次の日に新しいフライトを組んでもらい、ホテルも確保してもらい、なんとかそのアクシデントを乗り切ることができました。このような経験などを通して僕は、自分は自分が思うよりも様々なことができるのだと気づくことができ、だんだんと自信をつけることができました。

僕はホストファミリーが二家族いて、両方の家族に僕と年の近い子供はいませんでした。両方の家族にお孫さんがいました。僕は昔から子供が好きということもあり、そしてなにより最初のころは英語が喋れなくて、会話に入っていけなかった。子供たちと毎日のように遊んでいました。そのときは子供たちと遊ぶのにとっても必死で、子供たちと遊ぶことでホストファミリーとの仲が深まっているということにはまったく気づいていませんでした。ですが、ホストファミリーが子供たちと遊ぶ僕のことをよく思ってくれ、仲良くなる

ことができました。そんな子供達とは去年の今頃に一緒にハロウィンということで、一緒にかぼちゃを削ってランタンを作りました。自分でも上手くできたなと感心していたランタンでしたが、2日後には野生のリスに顔をかじられて、口がただの大きな穴になっていました。

それだけでなく、僕は合計して約二か月間、他の留学生との旅行に時間を費やしました。フロリダのディズニーやユニバーサルへ行ったり、ニューヨークやサンフランシスコへ行ったりなど、アメリカ中を旅行してきました。そこで僕は80人以上の留学生と知り合い、仲良くなることができました。留学生はフランスやフィンランド、インド、台湾やエクアドル、チリなど世界中から来ていて、そんな世界中の国の友達と一緒に旅行するのは夢の様な、すこし変な心地がしました。ですが、そんな世界中から集まった留学生が一緒になって旅行ができたのも、英語という共通の言語があったのだからと気づき、言語の大切さを再確認しました。それだけでなく、同じ国からきた留学生が母国語を喋り、他の留学生が話に入っていけない姿をみて、言語は人と人との壁を壊すだけでなく、壁を作ることもあるのだと実感しました。

この留学経験は僕のこのまだ短い人生の中の、とても重要でとても濃い一年となりました。この留学で僕は沢山のひとと出会い、学校や日本にいては学べないことを沢山学んできました。そしてこの経験を活かし、これから待ち構えているであろうどんな大変な出来事にも向き合っていこうと思っています。

このたびはこのような留学に行く機会とこの場でスピーチをする機会をくださり、本当にありがとうございました。



## ローターアクトクラブ代表スピーチ



高柳 亮佑

本日は貴重な時間を頂き、誠にありがとうございます。また、先だつての交換留学生の報告と比べますと、些か爽やかさに欠けるのはご容赦頂ければと思います。

先日、ローターアクトの地区役員と打ち合わせる機会があり、今後の地区全体の構成人数について話す機会がございました。やはり過去と比べますと、年を経るごとに人数は少なくなっており、今の企画も昔と比べると見劣りしているのかと、私がふと呟きました。そこでメンバーの一人が、それは違う、と言下に言いました。昔は確かにすごかったかもしれないが、今も面白いことはやっているんだから昔と比べる必要はないんだ、そんな言葉をかけて貰い

ました。本当に暖かい仲間に恵まれております。ただ、先ほども申し上げた通り人員の減少は喫緊の課題のままです。私の所属します大垣西ローターアクトクラブも一時期2名まで減少しました。そんな時、ご支援頂けたのは他ならぬ提唱ロータリークラブである大垣西ロータリークラブになります。

また、今期は地区内各クラブを様々な形でサポート頂き、当初30余名まで減少する見通しが70余名まで増やすことが出来ました。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

何卒今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

また、活動につきまして深く知っていただければと思いますので今お手すきでした、手帳開いて頂きまして、来年5月21日・第2630地区年次大会と書き込んでいただければと思います。

お時間頂き有難うございました。以上、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

## インターアクトクラブ代表スピーチ



益田清風高校 2年  
奥田 伶奈

私は、この研修で印象に残ったことが2つあります。1つ目は、私は韓国に行く前、韓国はとても発展しており、富裕層が多いというイメージを勝手に持っていました。ところが、そうではないことがわかりました。

私のホストファミリーは私と同じ歳の男の子でした。宿泊したアパートは彼のいとこの部屋で、同じ派遣団の先輩も一緒に過ごすことになりました。彼のいとこは、私たちを温かく迎え入れてくださりました。近くに彼の家があるということだったので、家族にも会いたいと思い、それを伝えると、彼の両親は昼も夜も働きに出ているということでした。それに、彼の祖母は重い持病を患っており、家事などを彼の姉や叔母などと、協力していると教えてくれました。あとでほかの派遣団員にホストファミリーのことを尋ねてみると、彼のように両親が全く家におらず、働きに出ている家庭が多いことがわかりました。

2つ目は、短い時間をホストファミリーと過ごして感じたことですが、韓国の方は自分よりも相手のこ

とを大切にするということです。例えば、何かしたいことはないか、お腹は空いていないか、疲れていないかなど、いつも私を気遣ってくれました。他にも、歓迎の印としてプレゼントをくれたり、私が買ったものは帰宅するまで持ってくれたり、家族に連絡しなくていいのかなど、私たち派遣団にとってこの派遣が思い出に残るよう、努力してくれました。そのことに私はとても感動しました。

そして今述べた2つのことから、私は今の自分について考えることができました。私は彼らより贅沢をしていると感じましたし、もっと自分より相手のことを考えて行動するべきだと思いました。

多くの方はお金がある方が幸せだと考えると思います。私もそう思っているし、実際、お金がたくさんあることで困ることはほとんどないと思います。物を買ったり、趣味に使ったり、時には人を救うこともできます。ですが、あればあるほど精神面で必ず幸せだといえるのでしょうか。私はそうではないと思います。お金はもちろん大切ですが、彼らのような人との深い関わりが、嬉しい気持ちや悲しい気持ちなど、いろんな感情を生み、心が満たされるのではないかと思います。彼は私に大切なことをたくさん教えてくれました。そのことにとても感謝しています。

今回の派遣で出会った友達やホストファミリーと

は、今でも SNS で連絡を取り合っています。8月の来日では受け入れできず残念でしたが、アメリカにいるもう1つのホストファミリーと違い、韓国は近いので再来年に会いに行く計画を立てています。

とても短い5日間でしたが、私にとって大きな意味のある経験になりました。

最後にもう一度、このような機会を与えてくださったロータリークラブの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ロータリー財団学友会代表スピーチ



市原 慶子

学友会の会長を務めさせていただいております。

市原慶子でございます。

最初に、ロータリー財団奨学生として多大な奨学金を頂戴して留学という素晴らしい経験をさせていただきましたことに感謝します。

私自身が、些細な事故で障害を背負って生きることになったこともあり障害者の福祉とか教育に関心を持っていました。なかでも。障害者を取り巻く家族や社会がどのようにサポートされながら一人の人間として正々堂々と生きているのか。そのための法律や制度はどのように運用されているのかを学びたいと思っていました。もう30年も前のことですが、新聞の片隅のロータリー財団奨学生募集という小さな記事を見つけ心躍らせて美濃ロータリークラブにお電話をしました。その時からロータリーの皆様とのお付き合いが始まりました。

この壇上に立たせていただき改めて思いますことは、自分自身で壁を乗り越えて上げていくのは、難しかったけれど自分の力量を遙かに超えたことに挑戦させていただけたのは、ロータリー財団の奨学生として留学というチャンスに恵まれたことだと思います。

留学先で学んだことは、専門分野のことばかりでは、ありませんでした。留学先で日本の文化について「日本の文化」についての講演を依頼され、私の郷土で1300年の伝統を守り渡されている『美濃和紙』について話しましたところ大変な反響で『貴女が、米国で研究している障害者の教育や福祉も日本にとっては大切なこと。でも1300年培われてきた和紙の伝統を守り育てていくことの方がもっと大事』と学長に言われ私は、そのこと言葉に心を突き動かされました。

帰国後 米国で学んだことを糧に 福祉の枠を超

えた取り組みで、社会に働きかけていけるような仕事がしたい。と選んだ道は起業でした。不況下 しかもビジネスに無知な私が会社経営に手を出すのは無謀でした。現実には厳しくなると見立ててはいましたが、それでも挑んだのは、大きな目標があったからです。

米国の人たちが、あんなに称賛してくれた和紙の可能性を信じて『TJP コーポレーション』という社名【TJPとは Traditional Japanese Paper】とし、いつかは、日本の文化(和紙)を世界に発信したい。そしてTJPの仕事を通して、微力でも、社会に挑戦したい。と挑んだものは現代の生活にベストマッチした本物の和紙の衣類の研究でした。世界に通用する価値の創造目指しました。そして、一人でも多くの方を巻き込んで福祉の枠を超えたネットワークを構築したいという思いがありましたので、励みしました。昨年には、経済産業省のJAPANブランド支援事業に採択され、本年度は、弊社の研究開発した和紙の衣類が、色々な障害や病で苦しんでいる方のお役に立つ衣類として国立リハビリテーションの展示会にも出品させていただきました。起業してからは、想像を絶するほど苦しい道のりでした。それを支え乗り越える原動力は、ロータリー財団の奨学生としての誇りです。ロータリー財団の奨学生として学ばせていただいたことが私の人生の転機になりました。まだまだ乗り越えなければならない壁は、無限にあります。でもこの仕事は私に与えられた役割だと思っています。ロータリー財団の奨学生としてロータリーの奉仕の精神を忘れることなく人生を邁進していきたいと思っています。

最後になりましたが、ロータリー財団学友会を代表して、皆様のご多大なご浄財のお陰で、留学という素晴らしい体験をさせていただきましたこと。本当に感謝いたしております。ロータリーの奉仕の精神を胸に私たちの学んだ経験を社会にお返しできるよう努めてまいりたいと思っています。有難うございました。

## 基調講演講師紹介

### ガバナー 劔田 廣喜



私の久野薫 PG との出会いは、第 2680 地区ガバナー月信のこの写真です。哲学者を思わせる風貌にこの様な写真を載せるガバナーとは、どの様なお考えをお持ちか非常に興味を持ちました。そして、月信を読ませていただくと、正直難しくして半分位しか解りませんでした。なぜか私の心の琴線揺るがします。それからは、ガバナー月信を毎月読むようになり、著書はもちろんの事、講演記録、久野薫 PG とかかれたものは、片端から読ませていただきました。まさに久野先生の追っかけです。そして久野先生のお考えに強く賛同し、地区大会の基調講演はこの人しかいないと考えました。本日、私の思い、願いが叶ったことは無上の喜びであります。日本を代表する深川純一 PG が畏友久野薫 PG の事を語られておられますので、紹介します。久野さんは、自分の言葉でロータリーを語っている。然るが故（しかるがゆえ）にその言葉は人の心を打つ。そこに久野さんのロータリーがあり、ロータリーの心がある。この点、久野さんは、自分の言葉でロータリーを語っている数少ないロータリー指導者の一人であると思う。

言葉が人の心を打つのは、言葉にこころがこもっているからであって、言葉そのものは心を伝える道具に過ぎない。即ち、言葉は現象に過ぎない。したがって、心が伝われば道具・現象は要らない。大切なものは言葉に籠められた心・本質なのである。

私は、久野さんの心に深く頷く（うなづく）事の出来る人が一人でも多く育つことを願っている。以上です。

久野先生は、本日の講演は、自分の遺稿であり、命を懸けるとまで言われております。

皆様方の熱心なご聴講をお願い致しましてご紹介とさせていただきます。

## 国際ロータリー第 2630 地区 地区大会基調講演

### 「Rotary-かえりみて、あすを考える」



国際ロータリー第 2680 地区  
パストガバナー  
久野 薫 (神戸東)

#### はじめに

国際ロータリー第 2630 地区の皆さん今日は。国際ロータリー第 2680 地区パストガバナー久野 薫でございます。神戸東 RC に所属して、28 年になります。本日は当地区の地区大会にお招きいただき大変光栄に存じます。

本日の講演は、かれこれ 1 年前、劔田ガバナーから直接既に、ご依頼を受けておりました。当時、ガバナーは「職業奉仕を中心に据えた日本ロータリーの精神文化の伝統は今どこに行ってしまったのか」という問いかけでございました。いよいよ年度が始

まり、ガバナー月信をお送りくださいました。そこには“*One profits most who attends most*”（最も出席するもの、最も報われる）という劔田ガバナーの信条が提示されておりました。この信条は劔田ガバナーが高山中央 RC のチャーターメンバーとなられたころからの、ご自身のロータリーライフの中核となる価値観であったようです。変貌してやまない RI の中であって失いかけているロータリー哲学の復活を願う劔田ガバナーの熱い情熱とリーダーシップが感じられたのです。

本日は劔田ガバナーの御意向を頭に描きながら、

## 地区大会二日目ガバナー挨拶



### ガバナー 剣田 廣喜

皆様おはようございます。昨日の高山の夜は充分にお楽しみいただけましたでしょうか？大会2日目が、櫻井権司 RI 会長代理ご夫妻にご臨席賜り、地区内外のロータリアン、そして地元國島市長をお迎え致しましてこの大会が盛大に開催されますこと大変嬉しい限りであります。

また、今年度はロータリー財団創立 100 周年（1917 年、当時の会長アーチ・克蘭フが「世界でよいことをする」ための基金を提案した）という祝賀の年でもあります。今から 100 年前はどの様な年かといいますと、1914 から始まった第一次世界にアメリカが参戦した年です。また、ライオンズクラブが設立された年でもあります。そして、設立されたばかりのライオンズクラブは、戦争で犠牲になった人々のために大変活発に人道的支援をしました。当時のロー

タリアンもそのような人道的支援をしなければならないという強い思いがあったのですが、もっと大切なことは、このような戦争、紛争ができるだけ起こらないように努力すべきだと考えた。そのためには、国と国、民族と民族、お互いが理解を深めることが大切である。それには、まず教育に力を入れるべきである。教育を施すことによってお互いの理解を深め、争いを少しでも減らせるのではないかという考えに至ったのです。

私はロータリーの思想、哲学の原点はここにあり、これが他の奉仕団体と大きく違うところと考えます。また、ロータリー財団の創立者アーチ克蘭フのすばらしところは、自分のことを、“thinks Rotary, sleeps Rotary, and dreams Rotary” . と言っているところです。寝ても覚めてもロータリーを思う人間と言っています。

其処までもいかなくても、ロータリーの魅力を今大会において皆様に多少なりともお伝えできればと思っています。皆様には、エンジョイ・ロータリーをお願いしてご挨拶とさせていただきます。

## － ポリオ撲滅キャンペーン －



ご協力ありがとうございました。

ロータリーは、1979 年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、パートナー団体とともに懸命な撲滅活動を続け、全世界でポリオ発症数を 99 パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまで来ています。

今回の地区大会では、ロータリーデーとして、また会場受付けやレディースプログラムの会場に於いてポリオ撲滅のための募金活動を行いました。ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペなども含め約 30 万円の募金をいただき、ポリオプラス募金として公益社団法人ロータリー日本財団へ送りました。

# RI 会長代理 アドレス



RI 会長代理  
櫻井 権司

## 国際ロータリー第2630地区大会



ロータリーの柔軟性と  
クラブ運営



2580地区 パストガバナー  
2016・17 RI 研修リーダー  
櫻井 権司

### 過去の大きな選択

- ◎1907年シカゴクラブ「相互扶助・親睦派」と「奉仕派」対立  
奉仕派を中心として全米ロータリークラブ連合会を発足(全米16  
クラブ)1911年6月20日 シカゴ・ロータリーは全米ローリー  
クラブ連合会を認めた。1912年国際ロータリークラブ連合会名  
称変更
- ◎1914年国際ロータリークラブ連合会、イギリスロータリー  
連合会の複数の連合会が誕生・・・共通の必要性  
1915年 サンフランシスコ大会で世界共通の標準クラブ定款採択し  
国際ロータリー連合会と各クラブの直轄方式とし世界のロータリー  
クラブの所在地を地区Districtと呼びアディショナル・クラブを認め  
る。各地区に国際ロータリー連合会の役員としてガバナーが指導  
監督することになる。



2016

### 過去の大きな選択

- ◎I service & We service の選択  
1908年アーサー・フレデリック・シェルドンにより「一般的奉仕概  
念」が持ち込まれる。商取引は両当事者が満足することであり、  
相手方に満足してもらおうとする考えを実行すること。  
ロータリーに浸透する。  
身体障害児問題活動を端を発し、クラブとして団体活動を推  
進する。一方、問題の重要性を指摘することにより世論を喚起  
し、会員の個人的活動を励ますべき。・・・対立が起きる。  
1923年セントルイス大会 「社会奉仕の方針の声明」  
決議23-34に因って妥協点を見出した。  
クラブの奉仕活動は自主独立性を有する。  
他のクラブは奉仕活動に干渉してはならない。  
他クラブのプロジェクトを無視、軽視してはならない



2016

### 決議23-34 ロータリー理念の確立

ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務、  
及びそれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を  
和らげようとするものである。この哲学は、「超脱の奉仕」の哲学であり、これは  
「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と言う実践的な倫理原則に基づくものである。

ロータリーは一つの人生哲学

利己的な欲求 ↔ 他人への尽くす感情

相反する二つの心の葛藤を調和させる



2016

### ロータリー21世紀に向けて RI戦略計画

21世紀に向けて激変する地域社会・国際社会に  
対応できるロータリー



2016

### ロータリーの更なる発展の為 多様性と柔軟性

ロータリーは、格式と伝統とその実績を誇りとした。  
↓  
世界の多くの会員は未来に向けて更なる発展を望。  
↓  
革新的なプログラムを打ち出してきた。  
DLP、CLP、財団夢計画、戦略計画  
↓  
2016年規定審議会は  
クラブ運営に大幅な柔軟性を与えた。



2016

### 2016年 規定審議会 クラブ運営に柔軟性

- ◎例会の曜日と時間を自由に決定する。
- ◎必要に応じて例会を変更または中止する。
- ◎奉仕プロジェクト、社交行事を「例会」とみなす。
- ◎直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、そ  
の両方を交互に行う例会、あるいは両方の方法  
を同時に用いる例会のいずれかを選ぶ。
- ◎出席要件、または出席要件を満たさなかった会  
員の終結に関する方針を緩和する。



2016

## 2016年 規定審議会

これらの規定審議会の決定は、標準ロータリークラブ定款の現行の規定に変更を加えるものではありません。

**変更を採用することをクラブが選択する場合、クラブ細則を修正する必要があります。**  
**一方で、変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を維持することができます。**



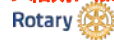
2016

## 2016年 規定審議会 入会金

クラブは今後も新会員から入会金を集めることができますか？

⇒はい。

審議会の決定により、RI 細則とクラブ定款から「入会金」が削除され、新会員は入会金を支払わなくても入会できるようになりましたが、各クラブの裁量で今後も入会金を徴収できます。  
 クラブは、入会金(やその他の費用)に関する規定をクラブ細則に加えることができます。



2016

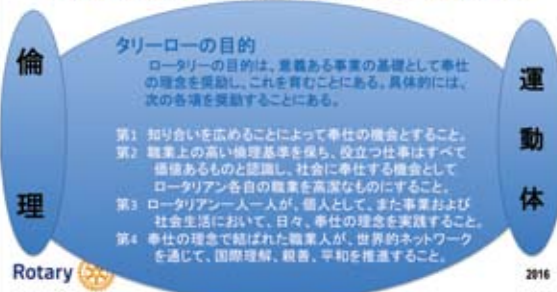
## 2015年10月RI理事会の決定



2016

## ロータリーの変わらぬもの

価値観を分かち合える友と出会い、共に活動する。



2016

## ロータリーの変わらぬもの ロータリー理念

決議23-34

ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務、及びそれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は、「超我の奉仕」の哲学であり、これは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と言う実践的な倫理原則に基づくものである。

ロータリーは一つの人生哲学



相反する二つの心の葛藤を調和させる

例会で調和させる心を養う  
 五大奉仕で実践する  
 「入って学び出でて奉仕せよ」



2016

## 時代に合わせ変化するもの

RI戦略的優先項目と目標



2016

## 時代に合わせ変化するもの

クラブの目標・運営 ?

クラブ運営に柔軟性を与えられたら

川の中を運んでいた船が大海に出たようなことです。川でも海でも目指す方向は「ロータリーの目的」です。大海を進むには、方向を決め船の大きさ、乗組員の人数を自分(クラブ全員)で決めなければなりません。



2016



劔田廣喜がパナーのご指導のもと77クラブの大きな飛躍の年度となるよう祈念申し上げます。



ご静聴ありがとうございました。  
2016

## 大会特別委員会報告 及び 大会決議採択

## 登録委員会

委員長 村橋 元（本巢）  
パストガバナー



委員 清水幸平（高山中央） 住宏夫（高山）  
大変、感動的で素晴らしい地区大会で、劔田ガバナーのリーダーシップ及び高山3クラブの努力の賜物と感じております。

また、2日目の客席が満席であることにも感動しております。

国際ロータリー 3600 地区のガバナー他、韓国よりたくさんの御来訪、ローターアクトでは、中国、ネパールの学生ほか、諸外国からもたくさんの方にご参加いただいております。

また、湘南ロータリークラブ他、国内ロータリークラブの方にも多数のご参加をいただきました

我が、2630 地区からも多くの方々にご登録いただき、総数、1470名の登録をいただき、近年に無い多数の登録をいただきました事、ここにご報告いたします。

本当に遠路、高山という岐阜の端であるにもかかわらず、皆様にお越しいただき、素晴らしい、感動的な大会になったことをご報告申し上げます。

## 選挙管理委員会

委員長 加賀 修（桑名西）  
パストガバナー



委員 松之本映一（高山中央） 井辺一章（高山西）

皆様こんにちは、まずは、20ページをご覧ください。選挙管理委員会を仰せつかっております。桑名西RCの加賀 修でございます。

ご報告のみさせていただきます

昨日、11:30より3名にて委員会を開催させていただきました。

RI細則第13条20の規定に基づき、国際ロータリー 2630 地区の2018-19年度のガバナーについて岐阜加納RC 木村静之君をガバナーノミニーとして定められた手続きにより適正に選任させていただきました。

対立候補はございませんでしたので、選挙はございませんでした。よろしく申し上げます。

## 信任状委員会

委員長 岡田 信春（鈴鹿シティ）  
直前ガバナー



委員 小森丈一（高山西） 三枝祥一（高山中央）  
皆様こんにちは、昨日10月22日高山市民文化会館3F会議室にて

高山西RC小森丈一地区幹事、高山中央RC三枝祥一地区幹事と3名にて開催いたしました

77クラブから信任状記載の選挙人数124名 国際ロータリー会則15条50の1に基づきました結果いずれも適正でございました。

7月1日現在の当地区の会員数は3,078名です。

以上報告終わります。

## 決議委員会

委員長 石垣 智康（多治見西）  
パストガバナー



委員 伊藤正隆（高山中央） 中井茂平（上野東）  
高山中央RC 伊藤正隆、上野東RC 中井茂平の両名と国際ロータリー細則に基づき決議委員会を開催いたしました。

原案に字句の変更、挿入をもって可決しましたのでご報告いたします。

・ P 29 の第 4 号議案の表題を次のように変更  
「各クラブは、地区大会の登録に際しては、その会員数の1/2以上を目標とする決議」

・ P 30 の第 6 号議案の直前ガバナーに対する感謝の決議

本文の2行目 「世界のプレゼントになろうのテーマのもとに」の後に「地区のロータリーのテーマを」の字句を追記

・ P 31 の第 10 号議案の表題を

「本大会のホストクラブ、協力支援クラブに対する決議」の「決議」の前に「感謝の」という字句を追記

以上の通り原案を修正し可決承認されました事をご報告いたします。

なお、当地区の議決権総数124名 出席議決権者108名 いずれも多数をもって可決承認されたことをご報告いたします。

## 記念講演

### 「日本人力の凄さ」

講師 白駒 妃登美  
(しらこま ひとみ)



#### 記念講演を聴いて 記録誌委員会

講師は埼玉県生まれで福岡県福岡市在住の「博多の歴史」白駒妃登美氏です。

白駒氏は、日本の歴史や文化の素晴らしさを国内外に広く発信することを、生涯の使命として活動されています。

幼いころより伝記や歴史の本を読み、その登場人物と友達の様に対話することが何よりの楽しみで、「福沢諭吉が大好きだから」という理由で慶応義塾女子高校へ入学されました。

慶応義塾大学経済学部在学中にオーストラリアに留学し、ホームステイ先のお母さんから日本の茶道と建国の歴史のことを問われるも、十分な返答が出来ませんでした。その事をきっかけとして母国日本の建国の歴史をはじめ日本の文化を探るうちにのめりこみ、心酔し、世界で一番古く、長い建国記録を支え続けている日本人力の凄さを発見し、日本の連綿と続く歴史とともに検証を続けてみえます。

大学卒業後、大手航空会社に国際線の客室乗務委員として7年半勤務し、退社後2児の母となりました。その後大病を患った経験から、命を紡ぐことの大切さを実感し、2008年「結婚コンサルタント マゼンタ」を設立して、福岡を拠点として活動をはじめました。2012年8月、日本の歴史や文化の素晴らしさを国内外に発信するため「株式会社 ことほぎ」を設立され、全国各地で講演活動に取り組んでいます。講演会では「こんな歴史の先生に出会いたかった」と涙する参加者が多数おられます。

今回の講演では飛騨高山に住んでいた山岡鉄舟を「ラストサムライ」と語っています。山岡鉄舟は江戸城無血開城の立役者の一人であり、「命もいらぬ名もいらぬ」と西郷隆盛に直談判したと伝えられています。

江戸城無血開城と言えば、勝海舟と西郷隆盛の会談により決定したことは間違いのないでしょうが、直前の準備交渉を任された山岡鉄舟は、徳川慶喜の意を体して、西郷隆盛との会談を図り、すでに江戸城進撃を決定していた彼の心を揺さぶったとされています。

西郷隆盛は、こんな男こそ武士の中の武士であると思い、明治天皇の教育係を命じました。新しい日本が開けたのは、山岡鉄舟の働き無くしては無しえなかったでしょう。それが出来たのは山岡鉄舟が多感な幼少の頃8年間 飛騨高山に両親と住み、飛騨人と接することで「飛騨のDNAと和の心」を得ていたからではないでしょうか。



西郷隆盛像



山岡鉄舟像（飛騨高山陣屋前）



## ガバナーエレクト挨拶



ガバナーエレクト  
田山雅敏

皆さんこんにちは。  
ただいまご紹介いただきました、今年度ガバナーエレクトの田山雅敏でございます。宜しくお願ひ申し上げます。

昨日・今日の地区大会、私にとりまして非常に興味深い地区大会でありましたと同時に、大変感動する地区大会でありました。

入念な準備をされて、高山中央クラブの皆さまをはじめ、剣田ガバナーのご指導のもとで素晴らしい地区大会を実現されましたこと、大変感動致しました。来年は私のことにもなりますので気の引き締まる思いで過ごさせていただきました。

すでに来年度への組織もほぼ固まりつつあります。来月からAGの研修も始まります。また、各地区の委員長の皆さまもほぼ人事が固まりつつあります。さきほど、櫻井RI会長代理からお話しのありました、これからは川から海へクラブが出航していくような、お話しをいただきました。

クラブの自主性をより発揮して、たとえば長良川から伊勢湾にでてきたのかなと、まだ外洋までは難しいかもしれませんが、私の為すべきことは、伊勢湾の景色から次に外洋に向けて各クラブが何を目指していくか、ロータリーをどう発展させていくか、大会決議にもありました素晴らしい伝統あるロータリーは守るべきものは守りながら、新しい時代のロータリーへと展開していく、初年度ではないかと考えております。

まだ自分のなかでの考えはすべてまとまっておられません。地区協議会なども踏まえて、自分なりに来年度にはしっかりと話しできるようにしたいと思います。

諸先輩のご指導をいただきながら、立派な2630地区をさらに前進させていければと思います。

宜しくお願ひ致します。

## ガバナーノミニー挨拶



ガバナーノミニー  
木村静之

この度ガバナーノミニーにご指名を受けました、木村静之と申します。岐阜加納ロータリークラブの所属でございます。

私は一年半先の就任を見据えまして、ロータリーの原点をしっかりと認識し、多くのロータリアンの仲間とともに、奉仕の理念を追求していきたいと考えております。

すでに私の所属するクラブの信頼する仲間とともに、次年度に向けていろいろな方に教えていただきながら準備を進めることにしております。

今回、この地区大会では、剣田ガバナーを中心とする高山中央クラブの皆さん、そしてコホストのクラブの皆さんによって、盛大に地区大会を主催されました。

そのおもてなしの精神は大変に私たちの気持ちを打つものがありました。ありがとうございました。

今回の地区大会への出席を通して、改めてロータリーの活力を感じております。

私は今回の出席、その他の行事に出席して、ロータリーについてしっかりしたお考えを持つ皆さま、また個性的な皆さまと交流できることが楽しみになっています。

皆さまから、ロータリーの活動についていろいろなお意見をいただきましたら、幸いでございます。

今後ともご協力をお願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

## 次期開催地ホストクラブ会長挨拶



上野東クラブ 中尾 彰克

上野東クラブの中尾でございます。  
先ほどの伊賀忍法・変わり身の術というのですが、いかがでしたでしょうか？  
忍者といえば忍びということで、この姿はお見せないのが本分でございますが、今日は特別に掟をやぶって皆さんにご覧いただきました。  
次年度はもっと素晴らしいホンマモノの忍者を見ていただけたらと思います。  
さて、昨日・今日とこの高山の地におきまして、素晴らしい地区大会を経験させていただきました。  
劔田カバナーのもと、高山中央クラブを中心に、コホストクラブの皆さまと大変緻密な計画のもと、大変素晴らしい地区大会を開催されました。心より敬意を表させていただきます。

先ほど、大会のカギをいただきましたけれども、少し躊躇致しました。カギの重さを改めて感じております。

次年度は三重県伊賀市におきまして。田山ガハナーエレクトのもと、私たちだけではできませんので、コホストクラブ・周辺クラブの皆さまのご協力をいただき、少しずつ計画を進めてまいりたいと思います。

何分にも初めての経験でございますので、現在も高山中央クラブさんにいろいろお聞きしております。これからもたくさんお聞きすることとしますので、どうか宜しく願い申し上げます。

次年度地区大会の日程は10月14日・15日の2日間でございます。

忍者の古里、歴史と文化の伊賀で皆さまをお迎えさせていただきたいと思います。

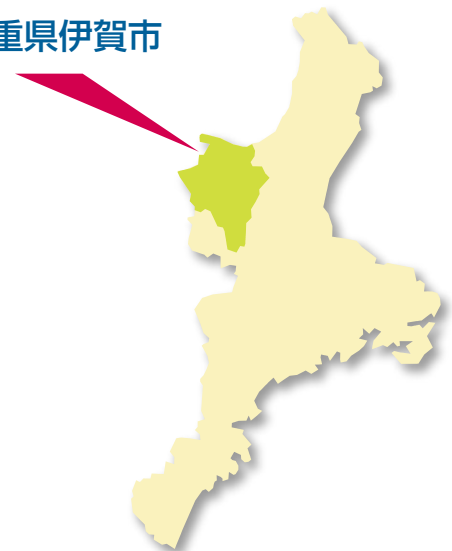
一生懸命準備をさせていただきたいと思います。

それでは、来年、伊賀の地へ！ 宜しく願い致します。



会長挨拶に先立ち、伊賀忍者の登場

三重県伊賀市



## R I 会長代理講評



R I 会長代理 櫻井 権司

2日間の2630地区の地区大会が、いよいよ幕を閉じようとしております。

この2日間、私は本当に夢の中にいるような面持ちで、皆さまと一緒に時を過ごさせていただきました。次から次へと、ロータリーの話題となるような沢山の事柄が展開され、まさに私にとってロータリーのなかで夢をみているような気がいたしました。本当に素晴らしい大会であったかと、改めて感じております。

聞くとことによりますと、この地区大会も、2年間をかけて周到な準備をされたというふう聞いております。その2年間がまさにこの2日間に実ったのかなと思いますが、あわせて劔田廣喜ガバナーの指導力の素晴らしさ、そして陰で支えている恵子夫人の陰からのおもてなしというものを大変強く感じました。

今回、私の同期であります、由良ご夫妻にエードをいただき、そのエードのお手伝いを清水様ご夫妻にいただきました。

おもてなしの熱い心が本当に感じられて、やはり伝統・格式を積み上げた高山の地での地区大会だからこそかと、そんなふうにも感じました。

この2年間準備をされた高山中央RCの会員ひとりひとりの皆さまに、あわせてコホストをお勤めいただきました、高山RC・高山西RCの皆さまも、おそらく陰で、見えないところでおもてなしの心で最大限のお手伝いをされたことであろうと、ですから、これほど立派な地区大会が開催されたというふう感じております。

振り返りますと、基調講演に久野薫パストガバナーの大変すばらしいお話しを聞かせていただきました。そして12グループ12人のガバナー補佐の皆さまから、それぞれのクラブを大変に特色のある、まさに私がそのクラブを訪ねたのではないかと思うくらいに楽しくイメージさせていただきました。そして、青少年の方々それぞれ代表のスピーチで、私たち青少年育成に携わって良かったなど、ロータリーだからこれだけのことができたのだと実感しました。

今日、白駒妃登美さんに日本人の凄さということで、和の心を文化にというまさに締めくくような講演をいただき、素晴らしい企画だと思いました。

一昨日、洲さきさんという料亭で食事をいただき、素晴らしいおもてなしをいただきました。あわせて清水さんに陣屋をご案内いただき、座って日本庭園を拝見致しました。まさに日本庭園は座って見るものであることを実感しました。

私たちは、便利さを求めるあまり、時として和の心を忘れていないかかもしれません。

この高山は和の心が文化になって、その中にきちっと生活が息づいている。便利を求めることでその辺に手を抜いてしまっていないか、警鐘を鳴らすために和の心を文化にと、もう一度私たちに訴えたのではないかと、そんな思いで地区大会に参加させていただきました。

最後に、この77クラブの皆さまが、ますます大きく、ロータリアンであって良かったと、言えるようなクラブ活動を是非とも進めていただき、日本に誇る、なくてはならない77クラブ・2630地区であると、日本を引っ張っていくような地区に是非とも成長していただけることを祈念し、そして温かい心でおもてなしをいただいた3000名を超える会員の皆さまに御礼を申し上げまして、講評とさせていただきます。

ありがとうございました。

## 地区大会謝辞



ガバナー 劔田 廣喜

国際協議会でジョンF・ジャームRI会長の挨拶は朋友から始まりました。朋友とは相互に信頼する親密な関係として年齢差や性別を問わず、地位・身分に関係なくつき合える友だちです。まさに、ロータリアンの事であります…本当にこのような盛大な大会を開けるのも、ロータリアン一人ひとりのおかげで、

できるのだと思っております。ロータリーの偉大さ、影響力も一人一人のロータリアンの心と行動によって支えられております。奉仕活動を通して集まった仲間、奉仕の理想のもとに集まった仲間、その仲間の輪を広げ、その絆を深め私たちの住む社会が少しでも住みやすくなるように、次世代に良い環境を残せるように頑張ろうではありませんか。

そして、自分の人生を豊かなものにいたたしましょう。この2日間、皆様のご支援ご協力そして友情に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 表彰・感謝状・記念品贈呈の記録

## 第1日目 10月22日(土)

### RI表彰

- 会長賞(金賞)  
高山中央ロータリークラブ
- 会長賞(銅賞)  
桑名西ロータリークラブ  
鈴鹿ロータリー  
鈴鹿西ロータリークラブ  
熊野ロータリークラブ  
岐阜サンリバーロータリークラブ
- インターアクトクラブ会長賞  
鈴鹿西ロータリークラブ  
岐阜サンリバーロータリークラブ  
多治見リバーサイドロータリークラブ
- クラブ創立50周年  
津南ロータリークラブ  
岐阜長良川ロータリークラブ  
多治見西ロータリークラブ  
高山西ロータリークラブ
- 職業奉仕リーダーシップ賞  
岩田 勝美 (羽島)
- 会員増強賞  
会員増加率が地区で最も高かったクラブ  
下呂ロータリークラブ  
新会員の数が地区で最も高かったクラブ  
土岐ロータリークラブ  
女性会員の増加率が地区で最も高かったクラブ  
岐阜エトスロータリークラブ  
過去3年間の会員の維持率が地区で最も高かったクラブ  
四日市東ロータリークラブ  
亀山ロータリークラブ  
上野ロータリークラブ  
尾鷲ロータリークラブ  
伊勢南ロータリークラブ  
岐阜東南ロータリークラブ  
岐阜エトスロータリークラブ

岐阜淡墨ロータリークラブ

下呂ロータリークラブ

### 地区表彰

- クラブ・ビルダー賞  
田中正人 (鈴鹿シティ)  
伊藤友治 (津北)  
岩崎克彦 (津北)  
下津和文 (津北)  
三浦義秀 (津北)  
和田 弘 (志摩)
- インターアクト最優秀クラブ  
久居ロータリークラブ  
第39回インターアクト年次大会提唱クラブ  
セントヨゼフインターアクトクラブ
- ローターアクト最優秀クラブ  
本巣ロータリークラブ  
第38回ローターアクト年次大会提唱クラブ  
本巣ローターアクトクラブ

### ロータリー財団表彰

- ロータリー財団年間協力優秀クラブ  
(一人当たり年次基金上位3クラブ)  
① 久居ロータリークラブ  
② 岐阜東南ロータリークラブ  
③ 四日市南ロータリークラブ

### 米山記念奨学会表彰

- 米山表彰  
岐阜南ロータリークラブ  
(米山記念奨学 寄付額7千万達成クラブ)  
岐阜ロータリークラブ  
(米山記念奨学 寄付額5千万達成クラブ)  
恵那ロータリークラブ  
(米山記念奨学 寄付額2千万達成クラブ)

- 米山記念奨学功労クラブ
  - 四日市ロータリークラブ
  - 四日市南ロータリークラブ
  - 四日市東ロータリークラブ
  - 鈴鹿ロータリークラブ
  - 津南ロータリークラブ
  - 久居ロータリークラブ
  - 伊勢ロータリークラブ
  - 岐阜長良川ロータリークラブ
  - 岐阜南ロータリークラブ
  - 岐阜東ロータリークラブ
  - 岐阜東南ロータリークラブ
  - 岐阜エトスロータリークラブ
  - 本巣ロータリークラブ
  - 羽島ロータリークラブ
  - 多治見ロータリークラブ
  - 多治見リバーサイドロータリークラブ

## 第2日目 10月23日(日)

### 感謝状贈呈

贈呈者 直前ガバナー 岡田 信春

- 直前地区代表幹事 梶井 收 (鈴鹿シティ)
- 直前地区会計長 南条 吉雄 (鈴鹿シティ)
- 直前ガバナー補佐
  - 桑員グループ 羽場 康廣 (桑名中央)
  - 四日市グループ 生川 博也 (四日市北)
  - 鈴鹿・亀山グループ 中村 薫 (鈴鹿)
  - 中勢・伊賀グループ 飯田 勉 (久居)
  - 松阪・東紀州グループ 坪井 常弘 (尾鷲)
  - 伊勢・鳥羽・志摩グループ 杉山 克雄 (伊勢南)
  - 岐阜Aグループ 山口 八郎 (岐阜北)
  - 岐阜Bグループ 渡辺 敏昭 (岐阜東)
  - 岐阜西濃グループ 三輪 高史 (大垣西)
  - 岐阜東濃グループ 鈴木 捷也 (中津川センター)
  - 東海北陸道グループ 羽田野 優男 (郡上八幡)
  - 濃飛グループ 洲岬 孝雄 (高山)

### ●永年地区役員表彰

- 竹内 稔 (四日市) 山岡 利安 (岐阜)
- 井上 幸次 (四日市) 眞鍋 修身 (岐阜西)
- 衣斐 信行 (鈴鹿西) 渡辺 敏昭 (岐阜東)
- 田端 稔充 (熊野) 所 直好 (岐阜加納)
- 佐藤 光宏 (松阪山桜) 桐山 貞善 (大垣西)
- 岡田 惇 (伊勢) 各務 博之 (恵那)

## 第1日目 10月22日(土)

### 記念品贈呈

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
贈呈者 ガバナー 剣田 廣喜

- R I 会長代理 櫻井 権司 (東京武蔵野)
- R I 第3600地区ガバナー(韓国)  
金 鍾國
- R I 第2680地区パストガバナー  
久野 薫 (神戸東)
- 直前ガバナー 岡田 信春 (鈴鹿シティ)
- R I 会長代理エイド 由良 久 (岐阜)

### 岡田信春ガバナー表彰

- 2015-2016年度R I 会長より感謝状
- R I 第2520地区より義援金感謝の盾
- I C Uロータリー平和センター支援パーティ  
シペーター

三重県

桑名西	水谷 隆 伸	松阪	村井 俊之
	村尾 憲		緒方 邦彦
四日市	堀木 直弘		岡野 達也
	種橋 潤治		鈴木 敏睦
四日市西	伊藤 康彦		高柳 稔
	片山 穰二		吉村 浩二
	水谷 慎志	松阪東	土井 美香
	多田 望		元坂 新
四日市南	森 勝幸		石川 哲章
四日市東	谷崎 篤史		中西 玉美
鈴鹿	花井 錬太郎		世古 俊子
鈴鹿西	川戸 広樹		和田 英樹
鈴鹿シティ	後藤 真吾		米田 博則
	五十嵐 弘信	熊野	前田 武久
	伊藤 洋一		斎藤 友紀
	水谷 晃	尾鷲	楠 大史
	森下 晃	鳥羽	増田 肇
	仲道 紀子		中野 多賀子
	山下 穰太	伊勢	畠中 真理子
津	近澤 敏雄	伊勢南	丸田 衛
	加瀬 久照	志摩	向井 澄子
	小柴 眞治		野並 健治
上野	別所 泰広	伊勢度会	牧戸 福嗣
	山本 禎昭		
	味岡 真紀子		
名張	川口 佳秀		
津北	杉本 治		
	打田 章雄		
上野東	三谷 逸男		
	三山 悦史		

## 岐阜県

岐阜	桑原善吉 岡本知彦 高橋捷允	各務原かかみの	古川真治 宮川伴邦
岐阜西	加藤勝仁	下呂	布目美智男
岐阜南	岸泰孝	美濃加茂	小原岳史
岐阜東	服部孝司	高山中央	谷口欣也
岐阜東南	美濃輪秀人		
岐阜加納	宮田茂 遠山升貴		
大垣西	古田剛三 飼沼弘蔵 三輪勝哉 小川貴久 山田康雄		
不破	小野彰		
大垣センチュリー	吉村美穂		
岐阜サンリバー	石川晴代 神野広美		
不破の関	吉田芳明		
瑞浪	熊谷隆男 中島功雄 南波利美		
恵那	瀬瀬裕 西尾文和 高木良直		
中津川センター	村上幸博		
多治見リバーサイド	中山芳郎		
美濃	市原慶子 川嶋智孝		
郡上八幡	本田雅人		
郡上長良川	岩谷典生 寺田正実		
各務原中央	小林茂弘		

## 三重県

桑名	水谷 景一	津	杉本 賢一
桑名西	矢田 俊二		橋本 信賢
	加賀 修		辻 正敏
	丹羽 隆史	上野	山出 美材
桑名中央	伊藤 嘉恭		余野部 猛
四日市	萩野 昌毅	名張	中島 滋泰
	伊藤 重和	津南	松田 英明
	大谷 浄治		旭 晋
	森 紀元	津北	楠井 嘉行
四日市北	加藤 修三		山口 久彦
四日市西	伊藤 隆	上野東	箱林 正紀
四日市南	片岡 宏朗		神戸 照男
	佐藤 讓司		美濃 弘
	国安院 章良	名張中央	喜多 公雄
	大橋 正行		松原 克文
	蟹江 哲博		仲田 栄二
	山路 忠		西田 重好
	青木 邦夫		東 和伯
	石塚 直樹	松阪	平井 義之
	坂 照明	熊野	井上 登
鈴鹿	樋口 政司		斎藤 鉄郎
	南条 實	松阪山桜	林 菖蒲
	澤田 紘		西村 伸久
	杉野 文雄	伊勢	浦田 勇
鈴鹿西	世古口 弘子	伊勢南	中西 康裕
	田中 通		山本 典
鈴鹿ベイ	磯部 定行	伊勢度会	三宅 將義
亀山	長谷川 智久		
	伊藤 淳彦		
鈴鹿シティ	櫛田 浩哉		
	岡部 勇		
	山川 敬止		
	岡田 信春		



## 岐阜県

岐阜	長谷和治 岡本太右衛門 操厚	岐阜加納	豊田真弘 林秀明 西澤恭平 毛利厚一郎
岐阜西	四橋昌彦 舟橋伸治 塩谷義憲 八代勝治 桐山直泰 武藤義一 篠田徹 後藤康彦 篠田靖之 水谷雄二	岐阜エトス 岐阜中山道 大垣	堀井利通 志知正博 平野順一 西脇保彦 後藤勝義 兼松秋生 所俊彦 林みち代 片野國太郎
岐阜長良川	藤澤昭治 野原宏	多治見	加藤智子 加藤守孝 岡山金平 嶋崎兼之 塚田晃 波多野一夫 伊藤昇 中田智洋 吉村敏博 有賀正尚 嶋崎重一 斉木克躬 藤田久二 土本大 大岩順子 齋藤明 山下智久 幅英樹 土本恭正 井上重敏 小川和豊
岐阜北	片桐順一郎 河村訓陸 森本時夫 小椋功	中津川	
岐阜中	松井順五 大橋哲也		
岐阜南	鬼頭秀明 高見正芳 安江幸洋 杉山令憲 阿蘇修 野々村定雄	瑞浪	
岐阜東	桑原一男 大島義彦 日比野隆二	土岐	
岐阜東南	水上徳次 藤井義昭	多治見西	
岐阜加納	後藤博和 堅田耕作	美濃	

## 岐阜県

美濃 関	石川 道政 藤井 淳 山村 誠示	各務原かかみの	小島 芳博 重谷 一郎 可児 昌則
郡上長良川	三島 昭 美谷添 生 和田 良一	可児 高山 高山中央	奥村 幸夫 北村 勝 新井 信秀 永井 信次

## ベネファクター

## 三重県

四日市 四日市北 四日市西 鈴鹿 上野東	森 純孝 伊藤 和彦 市川 嘉市 中村 薫 松本 正博	松阪  松阪東 志摩	岡田 光生 奥村 徳男 高畑 明弘 山本 泰司
----------------------------------	---	---------------------	----------------------------------

## 岐阜県

岐阜 岐阜西 大垣 大垣西 羽島 大垣中 不破の関	小野 幸満 塩谷 義憲 上田 治男 早野 泰弘 南谷 茂伸 種田 文彦 傍嶋 雅徳	多治見 恵那 多治見リバーサイド 美濃 各務原 高山西	河人 正道 山田 浩 荻原 光明 井上 久朗 竹田 克茂 古橋 直彦 山下 明
---	---	--	---

# ポール・ハリス・ソサエティ

## 三重県

---

桑名西	加賀 修	津	辻 正敏
四日市西	片山 穰二	松阪	平井 義之
鈴鹿シティ	岡田 信春	伊勢南	中西 康裕

## 岐阜県

---

岐阜	渡邊 忠彦	大垣	平野 順一
	辻 正		西脇 保彦
岐阜南	竹腰 兼壽	岐阜サンリバー	片野 國太郎

## 大口寄付者

## 岐阜県

---

岐阜南	野々村 定雄	大垣	平野 順一
岐阜東南	藤井 義昭		西脇 保彦
		岐阜淡墨	所 俊彦

# 米山功労者

## 三重県

桑名西	村尾 憲	名張	的場敏訓
四日市	品川 正		中子統雄
四日市北	伊藤和彦		八幡清隆
	長谷川裕之	津北	山口久彦
四日市南	片岡宏朗	松阪東	竹内秀樹
四日市東	佐藤敏明		井上雅樹
	田中淳一	松阪山桜	小濱彰男
	福田一夫	伊勢	岡本國孝
津	伊藤利彦	伊勢南	丸田 衛
	竹林憲明		

## 岐阜県

岐阜北	川崎賢二	多治見	日比野 準
	辻 博	中津川	勝 峰雄
岐阜南	玉木吉郎	瑞浪	小栗栄輝
岐阜東	中尾安民	各務原	平井正晴
	不破達生	各務原かかみの	古川真治
	安江利之	美濃加茂	美濃輪 彰
岐阜東南	美濃輪秀人	可児	堀井敏彦
羽島	野中 学	高山西	遠藤隆浩

## 米山功労者メジャードナー

## 三重県

四日市	片山茂則	津	石倉紀男
四日市南	青木邦夫		

## 岐阜県

岐阜南	和泉秀彦	岐阜淡墨	所 俊彦
	早野薫夫	中津川	田口清男
	國井武彦	中津川センター	磯村邦彦

# 米山功労者マルチプル

## 三重県

桑名	佐藤正信 小谷中剛 伊藤明人 水谷宗嗣 嵯峨井和風 水谷新平	四日市南	長谷川員典 大久保尚一 坂照明
桑名西	産屋敷康生 蛭川矩行 伊藤瑛朗	鈴鹿	桐生和明 樋口政司
四日市	伊藤勘作 藤井昌麻呂 佐伯幸生 石津英尚 伊達貫一郎	津	橋本信賢
四日市東	藤岡傳 水谷則幸	津南	佐々木喬 伊藤孝行 旭晋 栗田明
四日市南	松村武侈	名張	吉谷昌亮
		久居	辻原宣和 山松健一 喜多公雄 重藤久紘 仲田栄二
		名張中央	

## 岐阜県

岐阜西	塩谷義憲 八代勝治 山口憲一 長谷川誠 野村吉伸 野口千寿雄 眞鍋修身 山田武志 上松謙介	岐阜東	桑原一男 松井義孝
岐阜長良川	武田茂 伏見二彦 高井宏康	岐阜東南	岡部賢明 塩谷良三
岐阜南	浅野良浩 辻修	岐阜加納	中川稔之 豊田真弘 沢田誠 森嶋稔朗 青木稔郎 近松晟夫 下野達宏
岐阜東	大島義彦	岐阜城	杉山昌治
		本巢	野々村保幸
		羽島	林秀樹 山下正弘

# 米山功労者マルチプル

## 岐阜県

---

羽島

武田 明  
南谷茂伸  
青木平七郎

岐阜サンリバー

多治見

後藤博美  
山本敏行  
加藤守孝  
鵜飼正敏

中津川

麦島寛也

中津川

多治見リバーサイド

各務原中央

各務原かかみの

美濃加茂

長野和夫

糸井川均

原満夫

荻原光明

今尾英二

片岡紀生

江口尤美恵

亀井俊哉

# 物故会員

(2015年7月～2016年6月)

ありし日のご活躍を偲び、ご冥福をお祈り申し上げます。



牧村 実  
岐阜加納  
2015年7月5日



伊藤 喜美  
恵那  
2015年7月7日



阪本 俊一  
松阪  
2015年7月31日



野田 健一  
津南  
2015年8月19日



水谷 清吉  
岐阜南  
2015年8月28日



森本 烈  
多治見リバーサイド  
2015年9月2日



水谷 宗嗣  
桑名  
2015年9月11日



浅野 重雄  
大垣  
2015年9月27日



山岡 常男  
岐阜  
2015年10月14日



神野 秀城  
不破  
2015年10月24日



佐々木 銈二  
多治見西  
2015年10月31日



近澤 敏雄  
津  
2015年12月4日



松田 武朗  
松阪  
2016年2月9日



林 征雄  
岐阜加納  
2016年2月12日



伊達 貫一郎  
四日市  
2016年3月1日



加藤 泰  
四日市  
2016年3月5日

# 物故会員



松井 永二  
大垣  
2016年3月6日



吉村 美保子  
中津川  
2016年3月12日



大嶽 政彦  
多治見西  
2016年3月21日



矢野 義之  
桑名中央  
2016年4月5日



大脇 敦  
不破  
2016年4月10日



樋尾 晶三  
四日市  
2016年4月16日



山田 光雄  
岐阜南  
2016年4月23日



富田 右一  
大垣センチュリー  
2016年5月4日



小栗 弘  
羽島  
2016年5月13日



有賀 正尚  
瑞浪  
2016年5月21日



宮園 丸二  
松阪山桜  
2016年6月5日



田中 増吉  
大垣  
2016年6月14日



小林 秀男  
四日市西  
2016年6月25日



# 来賓・招待者・出席者名簿

(敬称略)

## 来賓

高山市長  
RI会長代理  
令夫人  
第2680地区パストガバナー  
令夫人  
國島芳明  
櫻井権司 (東京武蔵野)  
櫻井えり子  
久野薫 (神戸東)  
久野正子

パストガバナー  
令夫人  
パストガバナー  
令夫人  
パストガバナー  
令夫人  
パストガバナー  
令夫人  
ガバナーエレクト  
令夫人  
ガバナーノミニー  
令夫人

桑月心 (高山)  
桑月絢子  
村橋元 (本巣)  
村橋千恵子  
加賀修 (桑名西)  
加賀美代子  
石垣智康 (多治見西)  
石垣恭子  
田山雅敏 (上野東)  
田山圭子  
木村静之 (岐阜加納)  
木村容子

## 特別招待者

第3600地区 総裁  
令夫人  
事務総長  
令夫人  
次期総裁  
令夫人  
金鍾國  
柳銀姫  
季重燮  
崔銀嬉  
尹熙沃  
季惠順

## 他地区特別出席者

第2710地区パストガバナー  
令夫人  
第2780地区パストガバナー  
第2680地区パストガバナー  
令夫人  
第2660地区ガバナー  
令夫人  
第2690地区ガバナー  
第2670地区ガバナー令夫人  
西村栄時 (岩国西)  
西村加奈江  
相澤光春 (ふじさわ湘南)  
丸尾研一 (神戸西神)  
丸尾正子  
松本進也 (大阪北)  
松本章子  
庄司尚史 (境港)  
前田敬子 (坂出東)

## ガバナー補佐

桑員グループ  
四日市グループ  
令夫人  
鈴鹿・亀山グループ  
中勢・伊賀グループ  
松阪・東紀州グループ  
伊勢・鳥羽・志摩グループ  
岐阜Aグループ  
令夫人  
岐阜Bグループ  
令夫人  
岐阜西濃グループ  
令夫人  
岐阜東濃グループ  
令夫人  
東海北陸道グループ  
濃飛グループ  
小笠原まき子 (桑名北)  
宮崎由至 (四日市西)  
宮崎真知  
青木啓文 (鈴鹿シティ)  
中村晶宣 (上野)  
宇野恭生 (松阪)  
三宅将義 (伊勢度会)  
田邊雅範 (岐阜中)  
田邊由利  
木村静之 (岐阜加納)  
木村容子  
西脇保彦 (大垣)  
西脇節子  
齋木寛治 (土岐)  
齋木富貴子  
横山隆一郎 (各務原)  
長瀬隆 (可児)

## 特別出席者

ガバナー  
令夫人  
直前ガバナー  
令夫人  
パストガバナー  
パストガバナー  
令夫人  
パストガバナー  
パストガバナー  
令夫人  
由良久 (岐阜)  
由良通子

# 来賓・招待者・出席者名簿

## 地区出席者

地区代表幹事	伊藤 正 隆	(高山中央)
直前地区代表幹事	粉 井 收	(鈴鹿シティ)
次期地区代表幹事	中 井 茂 平	(上野東)
財務委員長	南 条 吉 雄	(鈴鹿シティ)
令夫人	南条 七三子	
地区会計長	前 越 路 子	(高山中央)
次期地区会計長	山 口 隆	(上野)

## 地区委員会委員長

情報部門委員長	丸 尾 謙 二	(大垣西)
令夫人	丸 尾 利 枝	
広報・IT部門委員長	伊 藤 松 寿	(高山西)
会員増強部門委員長	堀 場 巖	(岐阜南)
職業奉仕部門委員長	岩 田 勝 美	(羽島)
奉仕プロジェクト部門委員長	宮 崎 弘 夫	(鈴鹿ベイ)
社会奉仕小委員会委員長	前 田 敬 太 郎	(鳥羽)
国際奉仕小委員会委員長	篠 原 一 行	(多治見リバーサイド)
青少年奉仕部門委員長	伊 藤 靖 則	(四日市)
令夫人	伊 藤 美 幸	
ローターアクト小委員会委員長	大 谷 淨 治	(四日市)
青少年育成小委員会委員長	下 田 徳 彦	(高山中央)
青少年交換部門委員長	向 井 龍 三	(下呂)
インターアクト部門委員長	榊 原 成 人	(上野)
ロータリー財団部門委員長	辻 正 敏	(津)
資金推進小委員会委員長	本 弘 路 可	(津)
ポリオ・プラス小委員会委員長	杉 山 克	(津北)
資金管理小委員会委員長	黄 瀬 稔	(松阪東)
令夫人	黄瀬 加喜子	
補助金小委員会委員長	原 正 昭	(大垣中)
米山記念奨学部門委員長	後 藤 博 美	(岐阜サンリバー)
令夫人	後 藤 伸 子	
地区大会実行委員長	島 良 明	(高山中央)
地区大会会計	岡 崎 壮 男	(高山中央)
地区大会幹事	中 田 学	(高山中央)

地区大会幹事補佐

地区幹事

//

//

//

//

//

//

//

//

田中雅昭 (高山中央)

小森丈一 (高山西)

住宏夫 (高山)

橋本修 (高山中央)

松之木映一 (高山中央)

三枝祥一 (高山中央)

清水幸平 (高山中央)

村瀬祐治 (高山中央)

岩垣津巨 (高山中央)

大保木正博 (高山中央)

## 代表スピーチ

第2代よねやま親善大使

インターアクトクラブ

ローターアクトクラブ

国際青少年受入交換学生

国際青少年派遣交換学生

ロータリー財団学友会

于咏

奥田伶奈 (下呂)

高柳亮佑 (大垣西)

ジュリエット・バンドカステール (四日市西)

布目喜裕 (下呂)

市原慶子

---

## 大会特別委員会

### 登録委員会

委員長 パストガバナー

委員

委員

村橋元 (本巣)

清水幸平 (高山中央)

住宏夫 (高山)

### 選挙管理委員会

委員長 パストガバナー

委員

委員

加賀修 (桑名西)

松之木映一 (高山中央)

井辺一章 (高山西)

### 信任状委員会

委員長 直前ガバナー

委員

委員

岡田信春 (鈴鹿シティ)

小森丈一 (高山西)

三枝祥一 (高山中央)

### 決議委員会

委員長 パストガバナー

委員

委員

石垣智康 (多治見西)

伊藤正隆 (高山中央)

中井茂平 (上野東)

各クラブ選挙人 85名

# ロータリー関係団体参加者

※スピーカー

## インターアクト

※ 奥田 伶奈 (下呂)

## ローターアクト

吉田 篤志 (四日市)

石黒 晴香 (四日市)

増田 健吾 (四日市)

杉森 竜一 (四日市)

小島 彩花 (四日市北)

ギレミ スニタ (四日市北)

西脇 章太 (松阪東)

北出 真澄 (松阪東)

出口 舞 (松阪東)

高柳 亮佑 (大垣西)

矢島 将行 (大垣西)

齋木 祐也 (本巣)

## 米山奨学生

ディン ティ カム (桑名)

ポンマハーサイ・パラミ (名張)

梁 享麗 (松阪)

孫 凱 (鳥羽)

管 浩然 (志摩)

グエン・ホアン・ロン (岐阜長良川)

ズフード・ロザキ (岐阜南)

グエン・タム・ゴックタン (岐阜加納)

疏 蒲剣 (大垣中)

パウデル リザブ (岐阜サンリバー)

李 珠億 (瑞浪)

楊 悦 (多治見リバーサイド)

樊 容 (美濃加茂)

楊 雷 (可児)

## 国際青少年交換学生

ジュリエット・バンドカステール (四日市西)

ベラ・チャイユ・リン (鈴鹿シティ)

トゥバ・アロンソン (岐阜長良川)

カラニ・モロー (各務原)

シャロット・ベシャード (各務原中央)

ネイサン・ターナー (下呂)

※ 布目 喜裕 (下呂)

## 補助金奨学生

兼重 稔宏 (津)

## ロータリー財団学友会

※ 市原 慶子

# 地区大会参加者名簿

## 三重県

### 桑名RC

伊藤 巧  
中川 四郎  
松原 正紀  
小谷 中剛  
加藤 仁  
永野 元康  
水谷 新平  
水谷 景一  
薫田 靖夫  
佐藤 正信  
加藤 勝士  
伊藤 邦明  
水越 多加夫  
佐倉 美彦

DINH THI CAM

### 桑名西RC

矢後 義則  
矢田 俊二  
村尾 憲  
水谷 隆伸  
片山 健  
小川 浩司  
伊藤 和好  
一色 利之  
加藤 正人  
後藤 昭夫  
城田 芳樹  
蛭川 矩行  
産屋敷 康生  
佐藤 友生  
森 哲哉  
伊藤 瑛朗  
野口 浩司  
東松 晃弘  
伊藤 道治  
伊藤 一雄

### 桑名中央RC

伊藤 匡昭  
伊藤 嘉恭

加藤 真悟  
川北 宗弘  
酒井 隆  
瀬木 昌則  
羽場 康廣  
坂 新太郎  
山上 貴  
山本 力也

### 桑名北RC

黒田 里美  
松宮 竹弥  
加藤 仁美  
齋木 宜浩  
柴田 佳幸  
杉本 裕司  
中村 久  
林 恒男  
稗田 大輔  
松永 章吾  
水谷 政幸  
山下 三男  
山本 勝哉  
由原 祐一  
水谷 令子

### 四日市RC

佐藤 純  
堀内 孝二  
堀木 直弘  
萩野 昌毅  
藤井 昌麻呂  
川崎 憲夫  
伊藤 勘作  
堀木 俊男  
伊藤 重和  
平田 芳久  
岩崎 史嗣  
三林 史明  
山本 浩司  
長合 教実  
清水 彰弘  
大西 壮  
吉田 篤志

石黒 晴香  
増田 健吾  
杉森 竜一  
竹内 稔  
西口 知克  
矢野 哲也  
森 信夫  
矢野 正剛  
山路 真敏  
種橋 潤治  
大谷 浩信  
青木 貴行  
豊田 晃  
品川 正  
伊藤 一美  
佐久間 裕之  
藤原 和彦  
水谷 勝也  
後藤 善博

### 四日市北RC

伊藤 正純  
伊藤 竜児  
伊藤 和彦  
太田 真理  
松岡 賢  
長谷川 裕之  
橋本 浩  
松井 法子  
三曾田 雅子  
岡本 仁志  
小島 彩花  
ギミレスニタ

### 四日市西RC

萩 文三男  
小畑 英慎  
伊藤 康彦  
木下 卓也  
藤牧 正浩  
佐野 貴信  
早川 昌彦  
市川 嘉市  
岩田 雅之

片山 穰二  
加藤 真弓  
小山 晃市  
森 信治  
永田 正巳  
中川 直樹  
中野 勝方  
西尾 慎一  
野村 愛一郎  
小川 硬一郎  
岡本 浩延  
大矢 知直登  
佐治 英三  
佐野 明郎  
佐々木 薫子  
篠原 浩一  
田中大 補  
若林 弘樹  
渡邊 正夫  
山路 恭三  
山本 博也  
柳川 貴子  
坂野 信彦  
伊達 敏和  
樋尾 庄悟

ジュリエット・バンドカステル

### 四日市南RC

佐久間 紀  
伊藤 友一  
羽田 清志  
今井 英之  
石塚 直輝  
伊藤 富夫  
川北 育央  
森川 道博  
真田 文雄  
山路 忠  
矢野 範子

### 四日市東RC

金津 史和  
永尾 壽啓  
福田 一夫

田中 淳一  
辻 孝  
谷崎 篤史  
橋本 武志  
佐藤 敏明  
廣澤 孝次  
田中 清平  
服部 悦夫  
藤谷 祐太郎  
井村 元  
小川 武士  
木室 啓治  
東 栄作  
今井 寛喜  
松本 玉旗

### 鈴鹿RC

瀬尾 勇次  
小牧 智之  
秋月 修二  
長谷川 照義  
樋口 政司  
伊藤 随  
笠原 幸枝  
加藤 正彦  
北瀬 雅博  
小山 田亮  
牧野 弘美  
松嶋 康博  
宮崎 城治  
中村 薫  
贄 良治  
西村 英之  
尾市 亥佐生  
大森 裕志  
太田 秀典  
佐藤 左恭  
田上 顕也  
竹森 徳人  
田中 彩子  
田中 久司  
田中 良樹  
寺田 忍

森 日出子  
阪田 朋成  
**鈴鹿西RC**  
桃井 力生  
冲 俊成  
世古 弘子  
服部 高宣  
川戸 広樹  
川岸 光男  
柴田 友美  
岸本 春雄  
小林 充  
加藤 稔  
森 豊  
大泉 源之  
河田 勝正  
藤野 恵子

**鈴鹿ベイRC**

平野 泰治  
川岸 憲博  
中村 悟  
長岡 忠明  
谷田 義弘

**亀山RC**

川瀬 宏  
伊藤 淳彦  
服部 清  
赤塚 英則  
田中 博之  
渡邊 茂夫  
小河 明邦  
小嶋 佳太郎  
星合 通世  
森 順一

**鈴鹿シティRC**

前田 和也  
阪田 宣之  
山川 敬止  
永戸 潤  
佐野 寿  
櫛田 浩哉  
水谷 晃

浅生 厚  
浜本 隆弘  
樋口 勝幸  
平尾 仁邦  
廣田 隆  
伊藤 晃宏  
伊藤 素近  
伊藤 洋一  
加藤 保行  
小林 満  
近藤 正次  
前田 佳昭  
益田 正久  
松原文 香  
森 英友  
森 通人  
森下 晃  
本居 美佳  
村上 道哉  
西口 直人  
小川 一光  
大泉 源道  
岡部 勇  
岡村 信之  
恩田 幹夫  
佐藤 勝男  
杉本 弘次  
杉野 大雄  
高田 和成  
竹山 和彦  
田中正 人  
寺尾 幸久  
上原 幸正  
八澤 進二  
近藤 充功  
仲道 紀子  
酒井 俊昭  
服部 秀快  
水谷 進  
宮崎 福治  
清水 隆治  
福田 幸史

Vera Chai-Yu LYNN

**津RC**

後藤 真吾  
服部 隆也  
林 健一郎  
五十嵐 弘信  
伊藤 隆  
加藤 久詔  
北畑 達也  
中西 由佳  
太田 全彦  
鈴木 義幸  
宅間 淳二  
三藤 治喜  
伊藤 利彦  
加瀬 久照  
林 昭寿  
奥田 六幸  
黒川 正機  
宮上 史郎  
井熊 信行  
山中 利之  
増田 冬樹  
澤 忠知  
杉本 賢一  
安藤 友昭  
小島 健治  
西村 房和  
前田 良一  
大津 光浩  
古田 真二  
雲井 敬  
大西 秀隆  
須田 俊明  
兼重 稔宏  
村瀬 勝彦  
近澤 太輔  
前田 圭司

**上野RC**

市川 隆成  
中森 良文  
別所 泰弘

本城 高  
福増 久史  
山出 美材  
磯山 喜広  
伊藤 康彦  
小坂 元治  
稲濱 建夫  
今岡 睦之

**名張RC**

山崎 哲也  
山崎 伊久子  
亀井 喜久雄  
亀井 佳子  
中島 滋泰  
福本 毅  
幸松 孝太郎  
前田 喜久雄  
村井 宏  
浅津 英明

ポンマハーサイ・パラミ

**津南RC**

松田 英明  
竹内 敏明  
山田 俊郎  
林 裕行  
岡部 宏司  
西井 健之  
奥田 邦雄  
川喜田 久  
澤田 勝志  
樋口 直人  
栗田 明  
刀根 大士  
鈴木 康義  
千原 一典

**津北RC**

岩崎 均  
杉本 治  
楠井 嘉行  
山本 有人  
大橋 悟  
岩崎 克彦

山口 久彦  
荒木 康行  
小野 欽市  
加藤 勘次  
横山 昭司  
三島 茂雄

**上野東RC**

伊藤 泰載  
中尾 彰克  
森 正美  
中里 芳彦  
出後 秀雄  
南 喜延  
松本 正博  
三山 悦史  
福川 元康  
恒岡 光興  
子日光 雄  
神戸 照男  
宮田 耕一  
鈴木 孝治  
上村 良一  
長谷川 真嗣  
戸上 宗賢  
小林 健二  
栗本 了一  
前田 欣也  
角田 裕彦  
小林 俊明  
吉村 伸明  
西 三郎  
三谷 逸男  
石橋 美弘  
美濃 弘一  
竹森 一之  
丸山 治章  
野口 弘二  
恒岡 直樹  
木津 和朗  
岡本 和朗

**久居RC**

辻原 宣和

# 地区大会参加者名簿

下里義治  
山本和央  
山城武夫  
山松健一  
菅内章夫  
川出陽一  
村田清  
淺野信二  
長谷川靖  
川北一之  
稻森豊  
大野寛  
岡進  
八尾善幸  
豊田盛人

## 名張中央RC

東和伯  
生田亮司  
仲田栄二  
西田重好  
玉置英治  
辻貴仁  
田村秀喜

## 松阪RC

砂子貢  
四十崎義隆  
長井雅彦  
西川明樹  
安西秀一  
新竹信哉  
鈴木一司  
後藤勝  
綾野寿昭  
庄司博俊  
北山裕史  
松江茂  
高柳稔  
東地道夫  
平井義之  
岡田光生  
梁享麗  
上田重雄

小津邦義  
岩出巧  
奥村徳男  
中井周作  
中川哲夫  
中西博司  
中野紀男  
松本敏成  
細渕芳弘

## 松阪東RC

角谷徹  
中村容子  
川原平生  
北勇人  
地主昌美  
古川喜久朗  
松井恭子  
竹内秀樹  
小船谷昌幹  
松本信弘  
内田俊哉  
三宅弘  
中西玉美  
伊沢幹人  
三井義則  
百木孝司  
西脇章太  
北出真澄  
出口舞

## 熊野RC

瀧口佳丈  
山門弘毅  
西村昭宏  
濱田直美  
大崎順敬  
田端稔充  
西智也  
野地俊行  
朝尾高明  
山口哲生  
和田幹夫

## 尾鷲RC

北村豪  
中瀬幸志  
楠大史  
小倉眞左美  
坪井常弘

## 松阪山桜RC

清水三昭  
坂本昇  
北出誠  
鈴木康  
鴻原光  
橋本悟  
田中和弘  
川口好宏  
奥村清隆  
山下茂紀  
辻真理子  
植松悦子  
佐藤光宏

## 伊勢RC

松葉康博  
有田智史  
中村哲也  
浦田勇  
河野等  
岡本國孝  
世古浩平  
田畑知  
坂田巧  
山口博司  
岡田惇

## 鳥羽RC

増田肇  
松田正人  
野村一弘  
濱口和美  
丸川竜也  
小林嗣雄  
中野多賀子  
松田音壽  
森岡秋三

赤木隆宏  
中村和寛  
濱崎與吉  
孫凱

## 伊勢南RC

荒木俊明  
河村幸久  
西村光正  
丸田衛  
山口晃  
山本典  
山本亮介  
橋本博文  
西村俊明

## 志摩RC

松本寛  
山本三津子  
田中愛偕  
太田和正  
羽根美紀子  
劔山啓助  
山岡潤一郎  
田辺紀彦  
平石紀久子  
山本泰司  
柴原行正  
出口勝美  
似内聡  
村山千代治  
濱口真理子  
管浩然  
小林教郎

## 伊勢中央RC

近藤輝矢  
東伸周  
玉木義裕  
小切間鉄郎  
小西宏  
長谷川孝明  
八木雅文  
浦田幸一  
佐久間幹郎

沖林行彦  
島田広嗣  
森大亮  
竹中徹  
中井豊  
奥山宗司  
中村孝史  
加藤勝敏  
加藤泰樹

## 伊勢度会RC

池田六太郎  
越川貴行  
西本郁男  
加藤貴士  
奥野幸良  
上野郁夫  
田ヶ原博史  
村田春喜  
牧戸悦代  
安田千代  
山本訓兆

# 地区大会参加者名簿

## 岐阜県

### 岐阜RC

高橋 伸治  
佐々木 淳  
山岡 利安  
辻 博文  
加藤 展之  
市村 裕  
岡本 知彦  
小川 真奈  
小野 幸満  
國井 重宏  
栗本 甲太郎  
桑原 善吉  
篠田 元弘  
篠田 祐八郎  
高橋 啓一  
所 洋士  
堀 雅博  
山田 秀夫  
渡邊 忠彦  
米田 秀弥  
竹花 孝則  
仰木 一郎  
東 英憲  
黒木 千幸  
山下 博紀  
重森 万紀

### 岐阜西RC

曾貝 寿  
杉山 裕明  
早瀬 将賜  
大橋 通暢  
眞鍋 修身  
山田 佳孝  
坪内 堯  
四ツ橋 昌彦  
岡田 武司  
八代 勝治  
秋山 英樹  
内藤 愨雄  
中村 頼秋

### 岐阜長良川RC

篠田 正男  
篠田 徹  
河合 喜三  
西松 達郎  
戸本 伸  
深貝 一仁  
安田 吉範  
金子 晶彦  
西村 章  
箕浦 洋和  
嶋崎 藤茂  
野々村 武志  
山本 和宏  
杉山 公彦

グエン. ホアン ロン  
トゥバ・アロンソン

### 岐阜北RC

白井 毅子  
岡田 忍  
岡田 一二三  
辻 博  
永瀬 章  
西垣 康紀  
波多野 光裕  
林 隆行  
原尾 勝  
山口 八郎  
小泉 宣昭  
前田 吉彦

### 岐阜中RC

秋保 賢一  
安藤 元一  
森井 脩次  
森 益男  
田中 稔  
渡辺 成洋  
中山 章  
大橋 哲也  
篠田 たつ彥  
故金 正司  
故金 芳江  
中村 賢司

### 岐阜南RC

浅野 良浩  
宇都宮 幸嗣  
近藤 大樹  
野原 伸之  
杉山 康征  
玉木 吉郎  
阿蘇 修  
青谷 秀繁  
村瀬 尚宏  
鈴木 敏昭  
井川 元宏  
坂田 文雄  
伊藤 孝義  
神谷 正樹  
東 寿弘  
各務 信之  
伊藤 洋志  
秋葉 泰樹  
松山 茂  
伊在井みどり  
岩田 恵司  
大竹 正人  
武井 文世  
安田 秀成  
中野 祥宏  
杉山 令憲  
辻 修  
広瀬 之彦  
高見 正芳

ズフード・ロザキ

岸 泰孝  
佐藤 雅之  
丹羽 孝明  
村上 正雄  
森 健二  
豊田 慎次  
中島 利彦  
近松 誠治  
岡崎 郁也

### 岐阜東RC

服部 孝司  
豊田 雅孝

松田 良明  
吉川 康彦  
渡部 勝裕  
長谷川 隆志  
廣川 重幸  
不破 達生  
渡辺 英夫  
川崎 芳浩  
安江 利之  
松井 義孝  
菅原 寛之  
久保田 晃嘉  
秋川 貴宣  
細畑 直樹  
渡辺 敏昭

### 岐阜東南RC

小川 光明  
美濃輪 秀人  
近藤 浩史  
中島 健治  
大野 英樹  
末武 憲悟  
園部 茂  
脇田 峰秀  
岡部 賢明  
藤井 達郎  
高橋 圭司  
田端 大嗣  
水上 徳次

### 岐阜加納RC

宇野 耕史  
宮田 茂  
豊田 真弘  
土川 東  
平松 洋一  
横山 文夫  
野田 尚広  
青木 稔郎  
村瀬 洋介  
浅野 真  
横山 雅行  
岡田 明彦  
小野 優

角張 裕司  
川瀬 幸彦  
栗本 森義  
栗本 隆治  
鴻村 満  
後藤 博和  
後藤 政英  
沢田 誠  
篠田 篤彦  
白木 則男  
田中 敬二  
遠山 升貴  
所 直好  
中川 稔之  
西澤 恭平  
野崎 雅裕  
服部 多賢士  
林 康司  
林 秀明  
広瀬 修  
古谷 晃一郎  
間宮 久人  
若山 雅彦  
グエン. タム. ゴックタン  
加藤 雅彦  
蓑島 正

### 岐阜エトスRC

眞鍋 貞典  
北川 宥智  
堀井 利通  
水野 雄二  
見田村 勝信  
広瀬 栄司  
廣田 健二  
白井 伽織  
田口 真也

### 岐阜城RC

杉山 昌治  
長屋 貴之  
正村 一人  
江口 広康  
甲斐 茂樹  
澤田 憲政



加藤 丈博  
**岐阜中仙道RC**  
志知 正博  
虫賀 友則  
熊田 浩  
高橋 奈美  
伏屋 広行  
吉田 正雄  
辻井 喜久子

**大垣RC**

河合 保孝  
石井 成一  
吉村 有人  
傍嶋 重憲  
平野 順一  
菱田 大次郎  
今村 貴至  
木村 定昭  
北川 資雄  
久保田 洋一  
車戸 慎夫  
野原 扶二男  
野村 照司  
佐竹 建二  
尾藤 有康  
平林 淳  
廣瀬 龍祥  
黒川 善栄  
種田 雅文  
里村 大像  
吉安 好弘

**大垣西RC**

大橋 賢治  
金森 武  
浅野 総一郎  
桐山 貞善  
三輪 高史  
早野 泰弘  
三輪 勝哉  
森 芳郎  
高木 典一  
宮 忠司  
野村 正壽

田崎 賢一  
高柳 亮佑  
村木 多加臣  
大石 真規  
矢島 将行

**本巣RC**

杉山 卓生  
村井 正人  
松村 多美夫  
鷺見 芳男  
青山 正生  
加藤 伸明  
金山 保志  
桑原 脩  
末守 充  
高田 巳至男  
棚瀬 三之  
林 雅樹  
福田 康晴  
松尾 圭造  
若園 繁博  
渡辺 郁雄  
村瀬 孝夫  
村瀬 和子  
齋木 祐矢

**羽島RC**

加藤 宗雄  
松田 和彦  
兼松 秋生  
林 秀樹  
安澤 瞳  
川崎 正一  
山下 正弘  
南谷 茂伸  
大橋 正徳  
宮崎 修市  
神戸 正  
神田 孝子  
島田 光雄  
小川 好美  
安藤 賢治

**不破RC**

澤頭 健治

福田 一弘  
藤塚 茂郎  
近藤 光章  
小野 彰  
鹿野 充夫  
渡邊 利春  
吉田 芳明  
佐藤 良博  
小田嶋 忠  
脇田 尚典  
上田 孝

**大垣中RC**

古川 武光  
古川 和美  
百武 真一  
水谷 武  
橋川 寛治  
中村 一  
吉田 知尉  
小林 知成  
疏 蒲剣

**大垣センチリーRC**

松井 博幸  
堀 重人  
藤井 徳充  
古澤 達行  
井原 清  
伊藤 和宣  
吉田 真砂子  
児玉 浩一  
高木 二美  
若山 一幸  
富田 洋平  
木村 順一  
金森 久  
安田 厚士  
近澤 秀安

**岐阜淡墨RC**

野原 佳子  
伊藤 彰浩  
豊田 鐘三  
野村 信行  
上村 聖二

神山 英一  
清水 浩一  
高木 幹男  
高橋 寛治  
所 俊彦

**岐阜サンリバーRC**

大野 道夫  
大野 晶子  
永田 実彦  
竹内 正明  
今津 美憲  
大場 生留子  
神野 広美  
塩津 健

**パウデル リザブ**

林 みち代  
高田 登  
高田 貞子

**多治見RC**

校條 宏紀  
伊藤 眞理  
加藤 守孝  
加藤 芳晴  
大野 繁彌  
鶉飼 正敏  
河地 勝彦  
稲垣 穂積  
梅田 照夫  
笠鳥 早苗  
神谷 尚樹  
佐藤 円一郎  
土本 公彦  
山本 敏行  
山本 準二  
春田 直人  
曾場 昭之  
小竹 淳夫  
福村 郁夫  
伊藤 良一  
河人 正道  
日比野 準

**中津川RC**

波多野 一夫

林 彰  
可児 力孝  
酒井 康孝  
後藤 大作  
原 満夫  
糸井川 均  
吉村 敏博  
田口 義也  
志津 竜良  
吉川 義康  
佐藤 好哉  
宇治川 寛  
鈴木 康之  
市川 誠

**瑞浪RC**

河口 一  
南波 利美  
松井 啓至  
宮地 哲雄  
景山 助夫  
安藤 徳昭  
井澤 正治  
加藤 義弘  
狩野 辰雄  
工藤 彰一  
三浦 彰治郎  
伊藤 友一  
可児 恵太  
橋本 佳幸  
高木 辰雄  
南波 和重  
肩野 宏俊  
山田 幹雄  
加藤 修  
李 珠僖  
平野 千嘉子

**恵那RC**

渡辺 敏夫  
脇田 誠  
古山 紀昭  
井口 享久  
小林 浩司  
額 額 雅治

# 地区大会参加者名簿

保母 鎖 利  
 柘植 典 之  
 原 昶  
 各務 博 之  
 堀 正 樹  
 阿部 伸一郎  
 市岡 孝 之  
 市岡 照 美

## 土岐RC

福富 泰 岳  
 山村 宜 久  
 曾根 信 司  
 小栗 信 夫  
 小木 曾 順務  
 三宅 新太郎  
 中村 清  
 水野 清 司  
 塚本 俊 一  
 大木 重 正  
 可知 茂 明  
 水野 紘 彦  
 加藤 幸 長  
 塚本 満  
 青木 和 行  
 具原 重 治  
 土本 浩 義  
 安江 努

## 多治見西RC

山田 正 史  
 中島 竹 壽  
 加藤 真左子  
 齋藤 明  
 加藤 健 治  
 森田 誠  
 古田 徳 夫  
 関谷 泰 久  
 服部 賢 治  
 黒川 公 男  
 山口 寛  
 佐藤 正  
 佐藤 八 郎  
 森田 宏 治  
 柴田 武 司

加藤 三 紀  
 川原 正 隆  
 各務 和 宏

## 中津川センターRC

安藤 茂  
 浅井 達 雄  
 鷹見 幸 久  
 吉村 浩 平  
 古川 和 博  
 丹羽 大 祐  
 小倉 忠 雄  
 丸山 充 信  
 立木 亮 治  
 佐古 和 也  
 荒井 幹 広  
 勝野 正 彦  
 小林 昇  
 垂見 孝 也  
 丹羽 継 正  
 鈴木 捷 也

## 多治見リバーサイドRC

荻原 光 明  
 山本 和 彦  
 荒木 康 夫  
 水野 文 雄  
 澤田 哲 郎  
 稲垣 純 平  
 平野 幸 一  
 堀 和 彦  
 水上 善 貴  
 水野 鉄 治  
 箕浦 浩 久  
 柴田 良 夫  
 小境 啓 介  
 安積 信 有  
 安藤 博 人  
 渡邊 寿 彦  
 河人 宗 寿  
 楊 悦

## 美濃RC

西村 進  
 小川 定 彦  
 吉田 裕 治

河合 有 二  
 村下 恂 刑  
 北村 建  
 小川 和 豊  
 別府 卓 也  
 井上 重 敏

## 各務原RC

小林 幹 男  
 河野 春 男  
 藤井 孝 一  
 千葉 臨  
 大野 広  
 山田 昭 仁  
 横山 浩 之  
 浅野 實  
 小島 博 彦  
 竹田 克 茂  
 野村 公 人  
 カラニ・モロ一  
 小林 裕 樹  
 早川 久 美子

## 関RC

堀部 哲 夫  
 今峰 徹  
 大澤 竜 一  
 池村 真一郎  
 岩倉 宏 幸  
 大岩 寿 喜子  
 加藤 浩 二  
 後藤 信 介  
 土屋 佳 久  
 塚田 浩 孝  
 東谷 好 司  
 長尾 一 郎  
 西田 泰 幸  
 清水 善 光

## 郡上八幡RC

川井 昭 司  
 小笠原 正道  
 村土 時 男  
 西川 昇  
 林 健 吉  
 森下 光

小坂 慶 一  
 大前 正 行  
 三原 慎 也  
 和田 英 人  
 野田 三津雄  
 大畑 於左武  
 村井 義 孝  
 國田 大 雄  
 廣瀬 泰 輔  
 山下 友 幸  
 松良 努

## 関中央RC

伊佐地 金嗣  
 石原 妙 生  
 川上 勉  
 川村 紳 一  
 喜久生 明男  
 佐藤 忍  
 波多野 篤志  
 波多野 好文  
 山田 文 夫  
 山本 義 樹  
 大藪 太  
 長谷川 修  
 吉田 和 也  
 西田 健 一  
 小川 糧 司  
 古田 博 文

## 郡上長良川RC

山下 誠  
 畑中 知 昭  
 寺田 澄 男  
 尾村 忠 雄  
 美谷 添 里恵子  
 佐藤 備 子  
 岩谷 典 生  
 大村 太 郎  
 三島 昭  
 石徹白 秀也  
 羽土 洋 司  
 松島 信 二  
 松森 正 和

## 各務原中央RC

小林 茂 弘  
 片桐 耕 造  
 片桐 米 子  
 Jarod Joseph BECHARD  
 澤野 悟  
 廣瀬 悟 道  
 鍵山 和 昌  
 深瀬 清  
 河田 英 明

## 各務原かかみのRC

片岡 紀 生  
 安藤 弘 子  
 足立 善 昭  
 小島 栄 子  
 玉田 眞  
 辻井 麻 里  
 上田 良 雄  
 小島 芳 博  
 可児 昌 則  
 宮川 伴 邦

## 高山RC

垣内 晃  
 小林 一 輝  
 若田 一 博  
 平瀬 市兵衛  
 西村 尚  
 野畑 国 久  
 細尾 晃  
 阪田 俊 二  
 下畑 了 三  
 北川 由 幸  
 蓑谷 雅 彦  
 樹下 健 志  
 佐藤 祐 介  
 横畑 守  
 洲岬 孝 雄  
 河合 清 文  
 土田 貢  
 直井 憲 治  
 青山 真 琴  
 塩谷 孝 博  
 山下 英 一

小鳥幸男  
新谷尚樹  
早川宏治  
長谷川正好  
岩堤慶明  
川上浩平  
北村勝  
西野徹  
長岡俊輔  
角竹邦雄  
齋藤尚正  
鍋島徹哉  
滝広司  
戸沢幸夫  
高木淳  
打保敏典  
白川一公  
都竹雅弘

### 下呂RC

中川正之  
布目美智男  
井上一徳  
大塚正議  
池田哲雄  
金子博之  
片山朋臣  
桂川廣明  
北野勝広  
日下部護  
松岡守  
森本繁司  
村山弘明  
成瀬巧  
大森清雄  
曾我純次  
瀧康洋  
上野田隆平  
早川敏成

ネイサンターナー  
布目喜裕  
奥田伶奈

### 高山西RC

井辺一章

堺和信  
米澤久二  
遠藤隆浩  
垣内秀文  
古橋直彦  
鴻野幸泰  
田中正躬  
下屋勝比古  
斎藤章  
田近毅  
阪下六代  
折茂謙一  
内田幸洋  
岡田贊三  
挾土貞吉  
平義孝  
田中武  
門前庄次郎  
蜘蛛手康介  
向井公規  
大村貴之  
長瀬達三  
塚本直人  
井上正  
田中晶洋  
新井典仁  
山下直哉  
住田泰典  
田邊淳  
黒木正人  
杉山和宏  
榎坂純一  
松川英明  
高桑光範  
萱垣敬慈

### 美濃加茂RC

井尾達之  
高井文洋  
山田彰  
坂井文広  
若尾文子  
小原岳史  
大野博文

佐久間良直  
佐々木晃  
福井寛悦  
三輪哲哉  
亀井俊哉  
福井哲朗  
山口正子  
藤吉紀美  
西田逸夫  
勝川生年  
酒向信幸  
樊容

### 可児RC

奥村幸夫  
藤井辰巳  
梅田一人  
加藤敬司  
可児幹祥  
杉山一夫  
飯田敬二  
亀井和彦  
鈴木大介  
田畑広樹  
竹内清孝  
可児整  
溝口守  
今井英美  
若尾宗徳  
柴田美貴夫  
山本道典  
川上文浩  
村瀬毅  
堀井敏彦  
山本忠義  
高山圭希  
豊本英嗣  
亀井千歳  
肥田正志  
原明治  
楊雷

### 可茂RC

小栗真理子  
奥村哲

馬場均  
柴田達美  
大鋸清志  
道田智子  
堀野義夫  
兼松政則  
藤井保明

### 高山中央RC

阿部眞澄美  
足立常孝  
足立加代子  
新井信秀  
海老沢玲子  
富士井忠男  
古橋ひと実  
橋本暁子  
平川りさ  
平林英一  
平林紀子  
堀口裕之  
堀口潤子  
今井俊治  
井ノ下雄志  
伊藤順子  
岩垣津則子  
岩本正樹  
岩本成美  
久々野国良  
黒地重雄  
熊崎元康  
松之木洋子  
道下利一  
三枝敏江  
永井信次  
長瀬栄二郎  
中田一男  
中田康予  
中田專太郎  
中田和子  
仲谷政美  
直井泰司  
二木公太郎  
西倉良介

西倉淳子  
大保木寿美代  
大原誠  
鶯塚英雄  
坂之上健一  
坂家賢司  
周信夫  
周眞奈美  
島八重子  
清水洋子  
高殿尚  
高橋厚生  
高木純  
高木和代  
高原清人  
高原武夫  
高原優子  
田中栄子  
谷口欣也  
谷口とも子  
都竹太志  
津田久嗣  
津田恵美子  
植木眞吾  
内田茂  
和田良博  
渡辺甚一  
渡辺修治  
山本辰男  
益田大輔

### 高山中央RC友好クラブ

### 平塚湘南RC

田中敏恵  
河合邦彦  
杉崎一雄  
芦川浩  
麻生政雄  
稲子健二  
牧石健志  
三富正規  
柳沢隆  
高橋烈雄

# 祝電拝受

ロータリー米山記念奨学会理事長	小 沢 一 彦	第 2690 地区ガバナー	庄 司 尚 史
ロータリーの友委員会委員長	清 水 良 夫	第 2700 地区ガバナー	富 田 英 壽
第 2510 地区ガバナー	武 部 實	第 2710 地区ガバナー	田 原 榮 一
第 2520 地区ガバナー	濱 守 豊 秋	第 2740 地区ガバナー	崎 永 剛
第 2540 地区ガバナー	平 澤 孝 夫	第 2750 地区ガバナー	大 槻 哲 也
第 2560 地区ガバナー	田 中 政 春	第 2760 地区ガバナー	服 部 良 男
第 2580 地区ガバナー	上 山 昭 治	第 2770 地区ガバナー	浅 水 尚 伸
第 2590 地区ガバナー	高 良 明	第 2780 地区ガバナー	佐 野 英 之
第 2600 地区ガバナー	原 拓 男	第 2790 地区ガバナー	青 木 貞 雄
第 2610 地区ガバナー	岡 部 一 輝	第 2800 地区ガバナー	長 谷 川 憲 治
第 2680 地区ガバナー	室 津 義 定	第 2840 地区ガバナー	豊 川 一 男

# 大会役員

ガバナー	劔 田 廣 喜	
地区代表幹事	伊 藤 正 隆	
地区幹事	小 森 丈 一 住 宏 夫 橋 本 修 松之木 映一 三 枝 祥 一 清 水 幸 平 村 瀬 祐 治 岩 垣 津 亘 大 保 木 正 博	
大会実行委員長	島 良 明	
大会副実行委員長	西 倉 良 介	
//	高 殿 尚	
大会幹事	中 田 学	
大会幹事補佐	田 中 雅 昭	
大会副幹事 (総務部)	永 井 信 次	
// (交通宿泊部)	平 林 英 一	
// (式典部)	大 保 木 正 博	
// (懇親会部)	山 本 辰 男	
// (ロータリーデー部)	足 立 常 孝	
ホスト 高山中央RC会長	田 中 雅 昭	幹事 中 田 学
コ・ホスト 高山RC会長	住 宏 夫	幹事 垣 内 晃
コ・ホスト 高山西RC会長	井 辺 一 章	幹事 堺 和 信
大会SAA	大 保 木 正 博	
大会副SAA	坂 之 上 健 一	
大会会計	岡 崎 壮 男	

# 大会実行委員

総務部	大会副幹事	永井信次					
総務委員会	委員長	新井信秀					
	委員	大原誠					
登録委員会	委員長	清水幸平					
	委員	中田専太郎					
救護委員会	委員長	内田茂					
広報記録委員会	委員長	今井俊治					
	委員	堀口裕之	高原清人	長瀬栄二郎	熊崎元康	高橋厚生	
特別委員会	委員長	松之木映一					
	委員	清水幸平					
交通宿泊部	大会副幹事	平林英一					
交通委員会	委員長	橋本修					
	委員	渡辺修治	富士井忠男	鶯塚英雄	植木眞吾	二木公太郎	
宿泊委員会		中田一男	高原武夫	道下利一	直井泰司		
	(海外担当)	都竹太志	高橋厚生	坂家賢司			
	委員長	岩垣津 亘					
	委員	中田一男	井ノ下雄志				
式典部	大会副幹事	大保木正博					
式典委員会	委員長	三枝祥一					
	委員	長瀬栄二郎	松之木映一	津田久嗣	岩本正樹		
会場委員会		久々野国良	和田良博	堀口裕之			
	委員長	坂之上健一					
	委員	渡辺修治	坂家賢司	村瀬祐治	富士井忠男	熊崎元康	
		西倉良介	高殿 尚	直井泰司	平川りさ	阿部眞澄美	
		前越路子	益田大輔				
懇親会部	大会副幹事	山本辰男					
晩餐会委員会	委員長	伊藤正隆					
	委員	仲谷政美					
大昼食会委員会	委員長	井ノ下雄志					
	委員	長瀬栄二郎	大原誠	和田良博	熊崎元康	鶯塚英雄	
友愛の広場委員会		植木眞吾	高橋厚生	新井信秀	西倉良介	高殿 尚	
		道下利一	高原武夫				
	委員長	谷口欣也					
	委員	周 信夫					
接待委員会	委員長	前越路子					
	委員	高木 純	黒地重雄	古橋ひと実	平川りさ	海老沢玲子	
		松之木映一	清水幸平	岩垣津 亘	阿部眞澄美		
ロータリーデー部	大会副幹事	足立常孝					
ロータリーデー委員会	委員長	下田徳彦					
	委員	橋本修	内田茂	都竹太志	中田専太郎		
		岩垣津 亘	高原武夫	津田久嗣	新宮一郎		

地区大会やったぞ～！

おおー！



## 編集後記

地区大会も無事終わり、こうして地区大会の記録誌が出来上り、ホッと胸を撫で下ろしております。

思い返せば、約2年前から、組織編成、コンセプト、予算組、昼食会の内容等で、何度も会議を開きました。そして、その度に呑みました。

結果、韓国から、他地区から、そして第2630地区内から、1500名余りの皆様方に御参加頂き、3千万円を超えるような予算で、大会が開けました事は、私の人生に於いて、最高の感動でした。本当に楽しゅうございました。御参加下さいました皆様方に心より感謝申し上げ、国際ロータリー第2630地区の益々の御発展を祈念致しまして、御礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

地区大会実行委員長 島 良明

2016-2017年度 国際ロータリー第2630地区

# 地区大会記録誌

発行日 2017年4月

発行者 国際ロータリー第2630地区  
地区大会実行委員会

編集 地区大会総務部広報記録委員会

印刷 有限会社リブロ



# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

DISTRICT 2630 2016-2017  
HIDATAKAYAMA



Rotary



ホストクラブ 高山中央ロータリークラブ

コホストクラブ 高山ロータリークラブ  
高山西ロータリークラブ